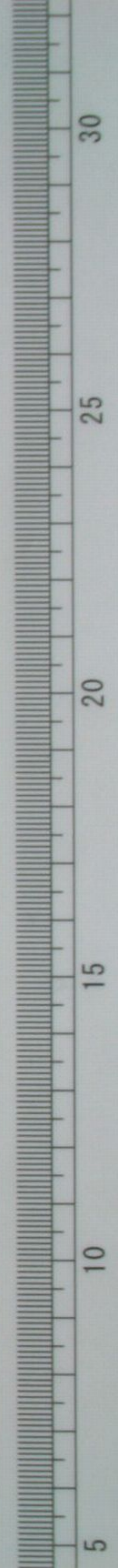




小倉文庫  
イ 16  
41



門 416  
號 4B  
卷

寬永二十年版



新編  
塵去  
記

上卷

昭和二十七年  
六月二十一日  
受入

新編塵劫記一目錄

第一 大殺の若れ事

第二 小殺の若れ事

第三 胎の殺の若れ事

第四 回れ殺の若れ事

第五 法物糶重れ事

第六 九九の殺乃事

第七 八人よりりの了る付圖

第八 魁一乃よりれ了る付圖

第九 かげてよれ海人



第一

大数く名

不可思議	恒河沙	洞	北	一
千不可思議	十恒河沙	子洞	子北	十北
百不可思議	百恒河沙	子洞	子北	十北
千不可思議	千恒河沙	子洞	子北	十北
無量	阿僧祇	載	京	十
大数	十阿僧祇	子載	子京	十京
	百阿僧祇	子載	子京	十京
	千阿僧祇	子載	子京	十京
	那由他	穰	行	百
	十那由他	子穰	子行	十行
	百那由他	子穰	子行	十行
	千那由他	子穰	子行	十行
		億	漏	万
		子億	子漏	十万
		子億	子漏	十万
		子億	子漏	十万
		十億	十漏	亿
		子十億	子十漏	十亿
		子十億	子十漏	十亿
		子十億	子十漏	十亿

第十 乘らるゝの事  
 第十一 依まゝの事  
 第十二 依すまゝの事  
 第十三 宛ふたゝの事  
 第十四 機らるゝの事  
 第十五 派まゝの事  
 第十六 金まゝの事  
 第十七 小部まゝの事  
 第十八 とうべの事  
 第十九 申るゝの事

哉



說物怪重之類

金



百七拾又五

銀

百九拾又五

玉

百八拾又五

錢

百七拾又五

石

百七拾又五

銀

百八拾又五

錫

百七拾又五

銅

百七拾又五

鐵

百七拾又五

鉛

百七拾又五

九九之數

二二

二二

二二

二二

二六

二七

二八

二九

三三

三四

三五

三六

三七

三八

三九

四〇

四四

四五

四六

四七

四八

四九

五〇

五一

五五

五六

五七

五八

六六

六七

六八

六九

七七

七八

七九

八〇

八八

八九

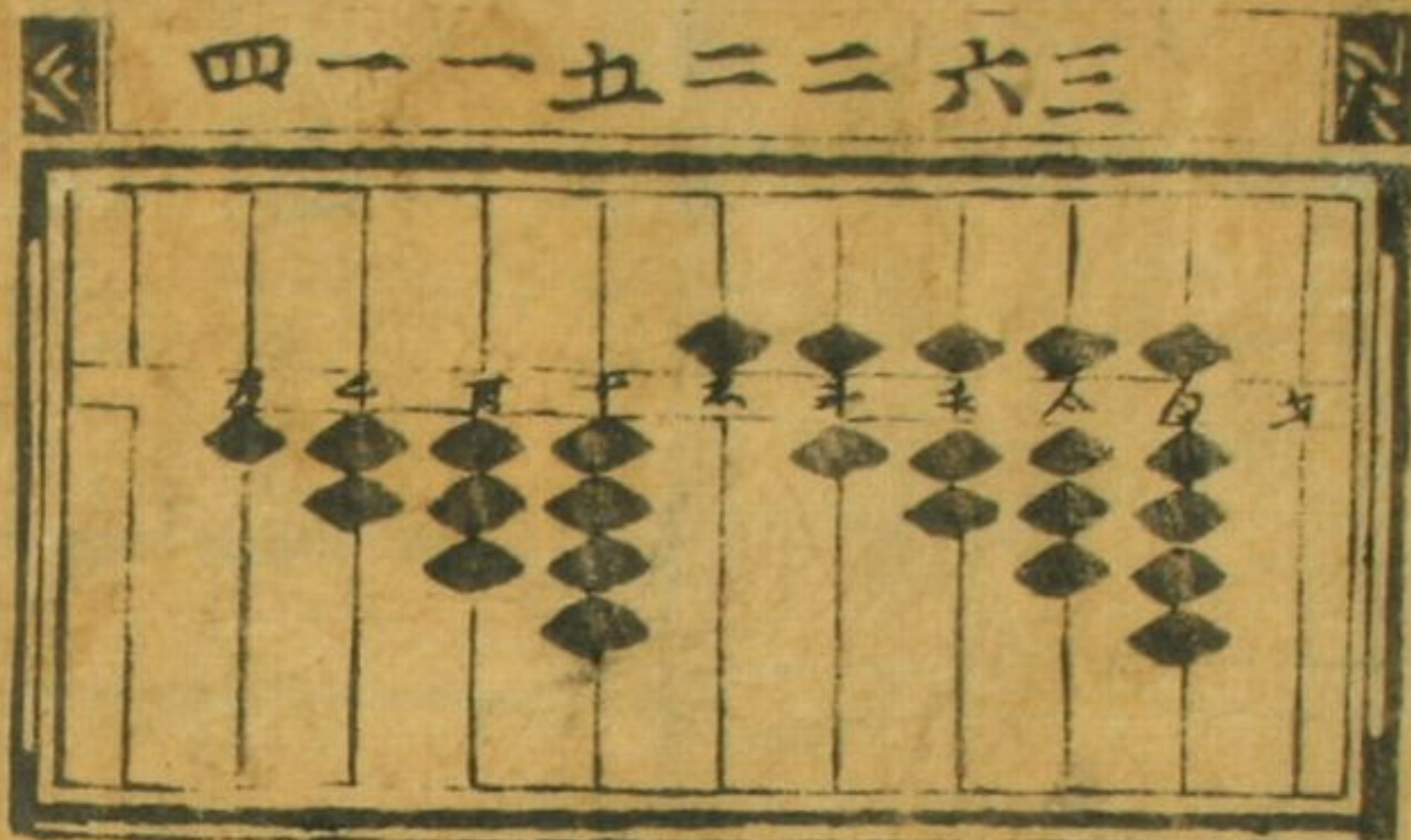
九九

一〇〇



三	三	逢
三十一	六十二	三進二十

圖刻五



九進三千  
 九進三十  
 六進二十。三一九一  
 三進千。三進千  
 三進千。三進千  
 三進千  
 三進千  
 三進千  
 三進千

万	千	百	十	百	十	百	十	百	十
三	一	一	五	二	二	六	三	一	一
三	一	一	五	二	二	六	三	一	一

加の元

於の万三の百五拾六の七拾九と  
 三の百五拾六の七拾九と  
 三の百五拾六の七拾九と

四	三	三
廿二	天坐	七十二
進		
四進		

圖刻四



四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二  
 四進千。四進千。四一九二

万	千	百	十	百	十	百	十	百	十
三	一	一	五	二	二	六	三	一	一
三	一	一	五	二	二	六	三	一	一

加の元

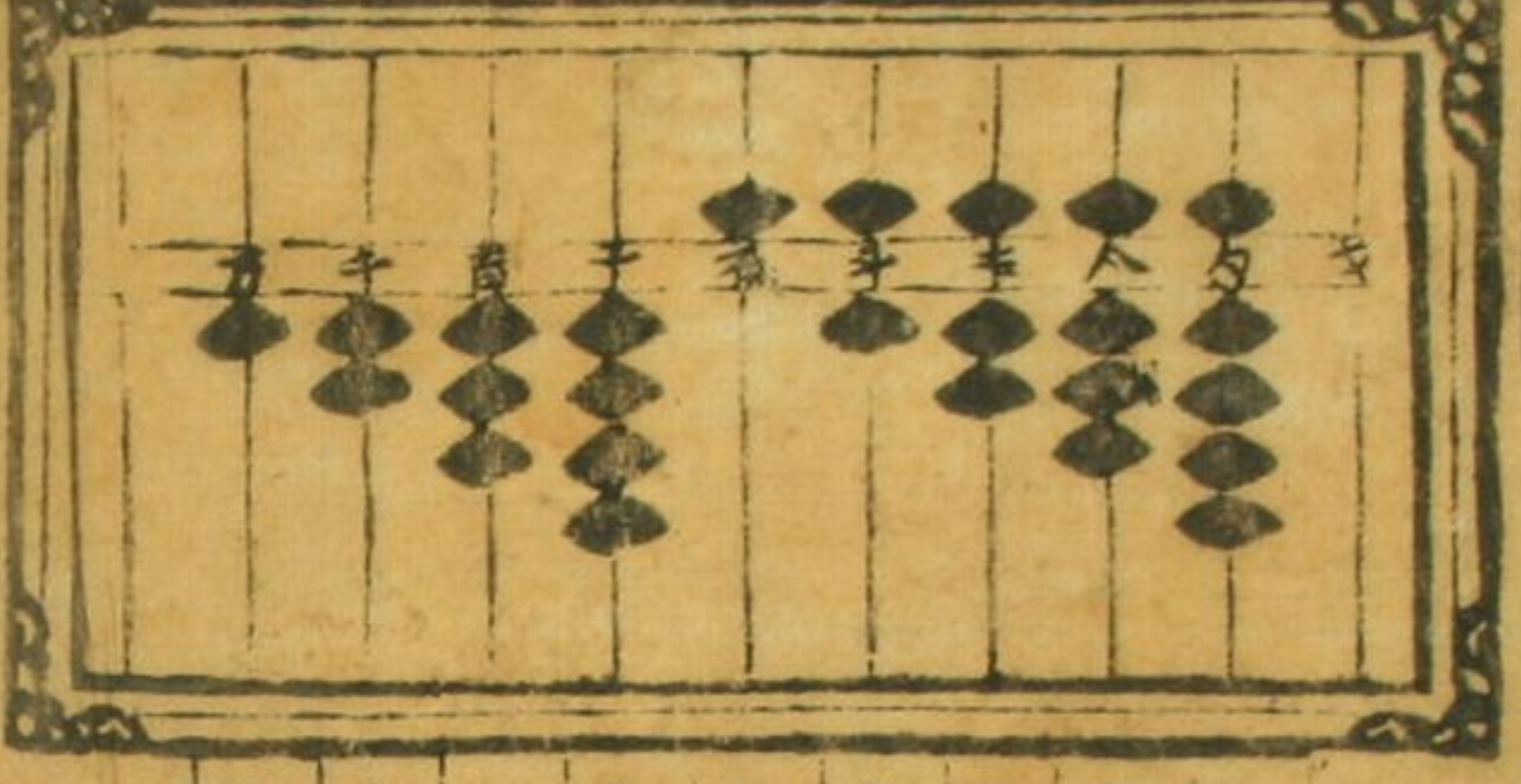
於の万三の百五拾六の七拾九と  
 三の百五拾六の七拾九と  
 三の百五拾六の七拾九と



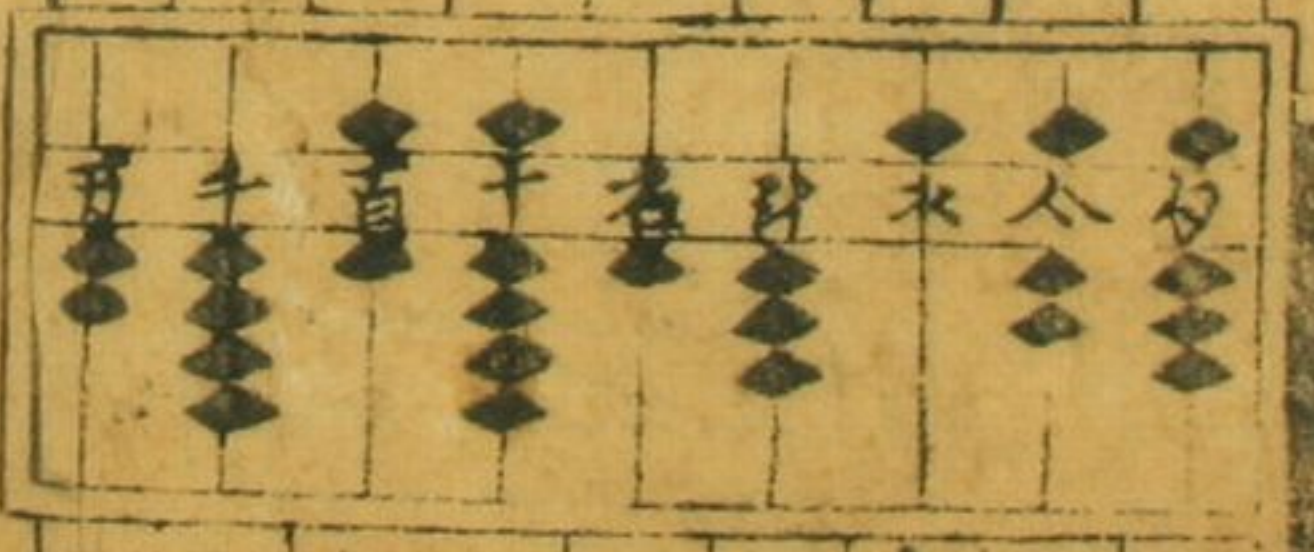
五	三	五
倍	倍	倍
六	四	五
十	五	八

### 五刻圖

二 四 六 五 一 三 五 七 八



五進千。五〇倍他八  
 五進千。五三倍他六  
 五進千。五二倍他七  
 五進千。五一倍他二  
 五〇倍他八  
 五二倍他六  
 五一倍他二



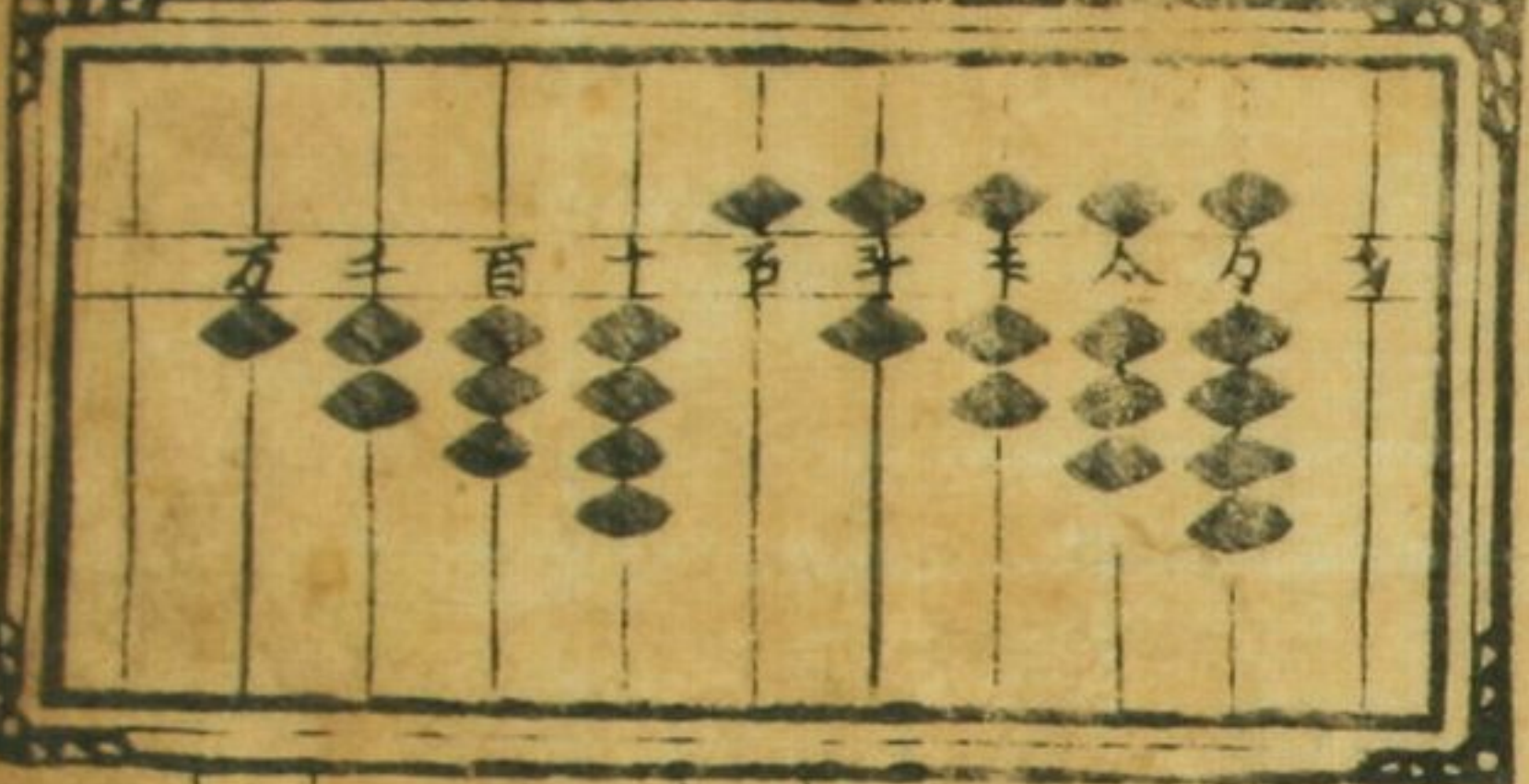
五六  
 五七  
 五八  
 五九  
 五〇  
 六一  
 六二

りふふ  
 於此方三三〇四四〇五五〇六六〇七七〇八〇九〇  
 〇一〇二〇三〇四〇五〇六〇七〇八〇九〇  
 〇一〇二〇三〇四〇五〇六〇七〇八〇九〇

三	三	三
天	世	加
五	二	西
進	五	益
一	八	六
十	十	四

### 六刻圖

二 五 七 六 一 三 一 五



六進千。六三天地  
 六進千。六一上下  
 六進千。六三天地  
 六進千。六一上下  
 六進千。六三天地  
 六進千。六一上下

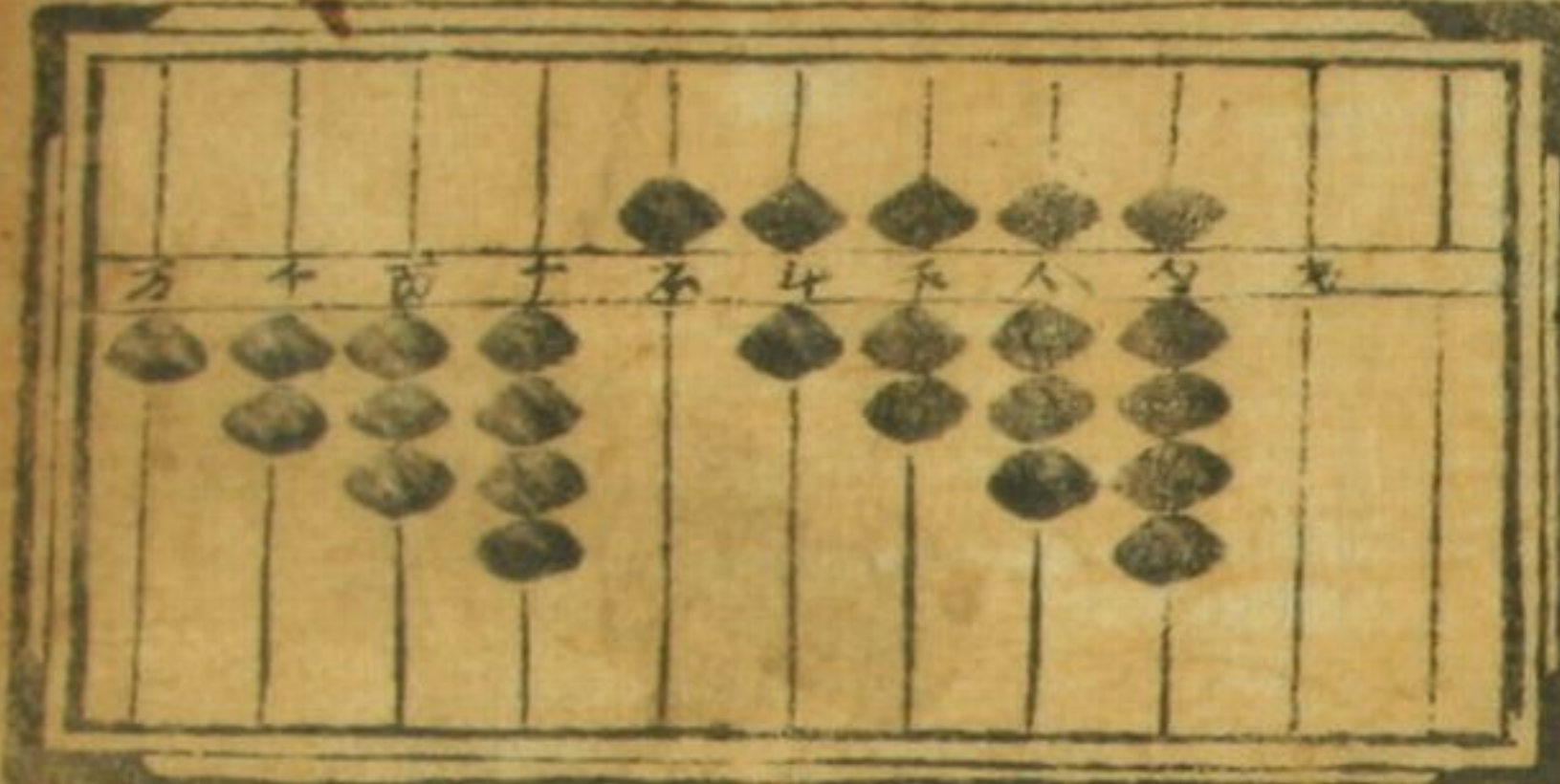


五六  
 五七  
 五八  
 五九  
 五〇  
 六一  
 六二

りふふ  
 於此方三三〇四四〇五五〇六六〇七七〇八〇九〇  
 〇一〇二〇三〇四〇五〇六〇七〇八〇九〇

八刻圖

一五四三二 九八六二五



八位天位  
 八位千位  
 八位百位  
 八位十位  
 八位一位  
 八位下位  
 八位下下位

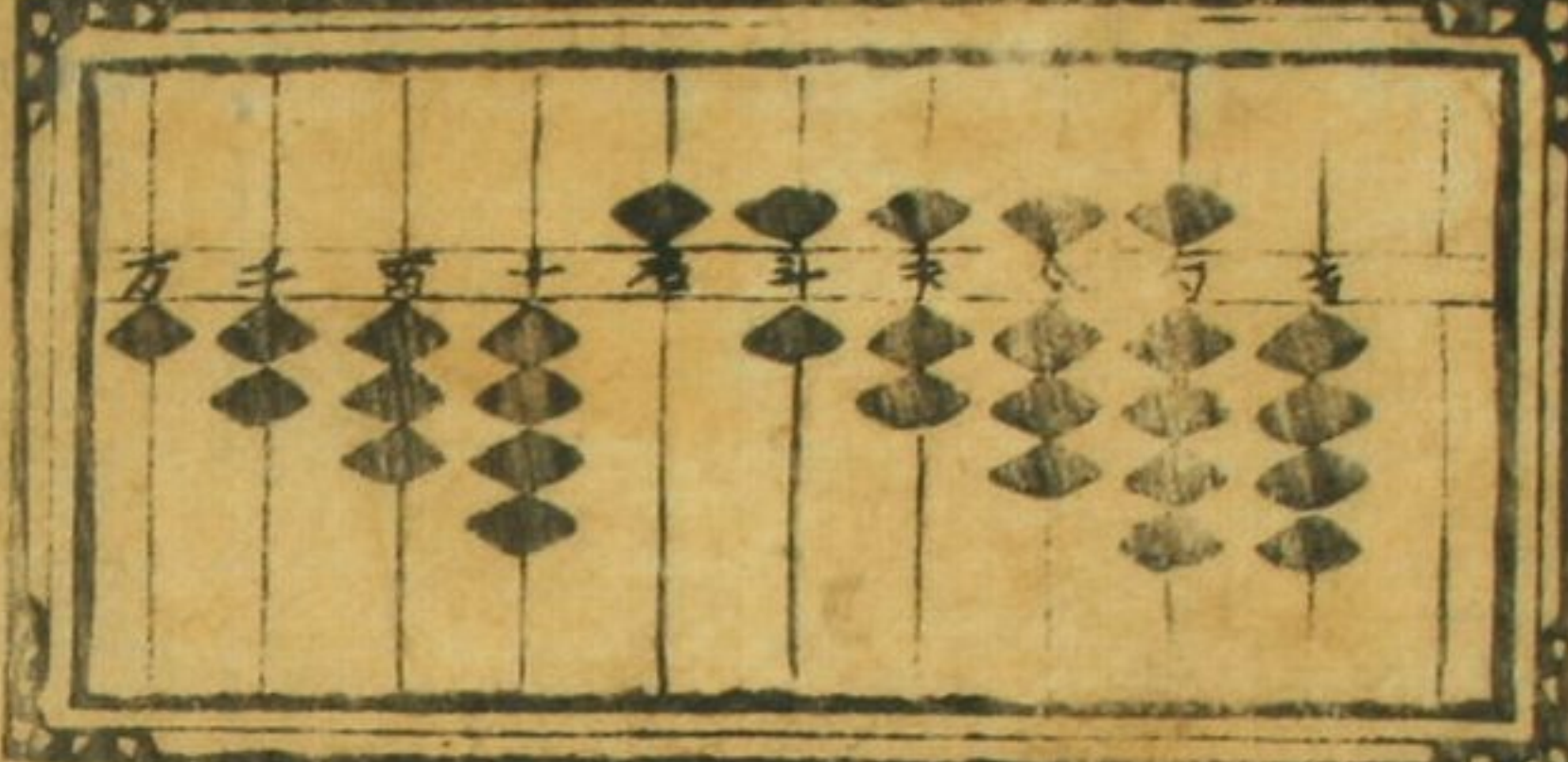


八位 一  
 八位 二  
 八位 三  
 八位 四  
 八位 五  
 八位 六  
 八位 七  
 八位 八

八位	七位	六位
八位	七位	六位
八位	七位	六位
八位	七位	六位

七刻圖

一七六三六六八四二



七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千  
 七位千。七位千。七位千



七位 一  
 七位 二  
 七位 三  
 七位 四  
 七位 五  
 七位 六  
 七位 七  
 七位 八

七位	六位	五位
七位	六位	五位
七位	六位	五位
七位	六位	五位

七位 一  
 七位 二  
 七位 三  
 七位 四  
 七位 五  
 七位 六  
 七位 七  
 七位 八



算入

見一のよりれゝ急付ひせん

見一 女及他九一

これ八十一より十九のうへに九はくふ

降一倍一 一進の二十

うの時よ入しや又百乃くのの事も

見二 女及他九二

子のうへに九はくふも同ああり

降一倍二 今人の三度

見ハ九より九のの中よ割時よ入や

見三 女及他九三

又此百のうのこ二子れく乃中二五れ

降一倍三 今人の三度入

うのこよまうも同ああり

見四 女及他九四

あれハ九より九九ふうも三百のうの

降一倍四 今人の四度入

こふ割も三子乃と此中よまうもい

見五 女及他九五

はれも同ああり

降一倍五 今人の五度入

これハ九十一より四十九れくの事よ割

見六 女及他九六

こふ入しや此百のう乃中四子れくの

降一倍六 今人の六度入

こふうももたれあてくあや

見七 女及他九七

是ハ九十のうのこよ割又此百のこ

降一倍七 今人の七度入

の中よけりしふ子れふあふひある

見八 女及他九八

乃くの事よまうも同ああり

降一倍八 今人の八度入

七より七十九まんののうよまう時

見九 女及他九九

お入あり又七百のこ此中七子乃と

降一倍九 今人の九度入

のこよまう事も同ああり

八十一より八十九のこれくよまう時

入あり八百のこ此中八子のこ

より七まうも同ああり

九十一より九十九のこれくよまう時

よ入や九百乃と此中九子のこ

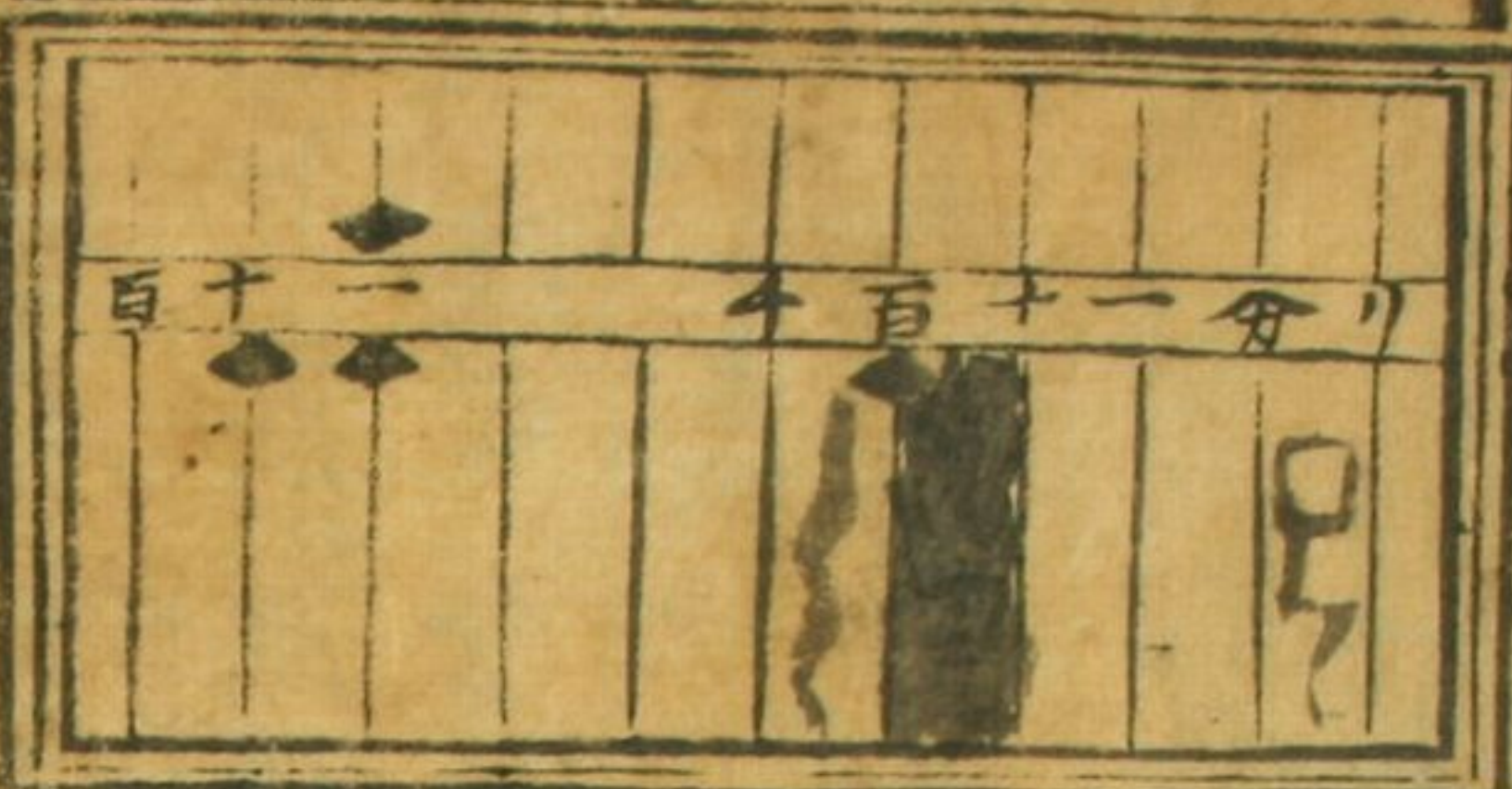
よまうも同ああり

おれよりあてくまれぬもいふ事なり何

れと中とのああ算あてくもわきやしあわりは

れと算あてくもわきやしあわりは

見一圖



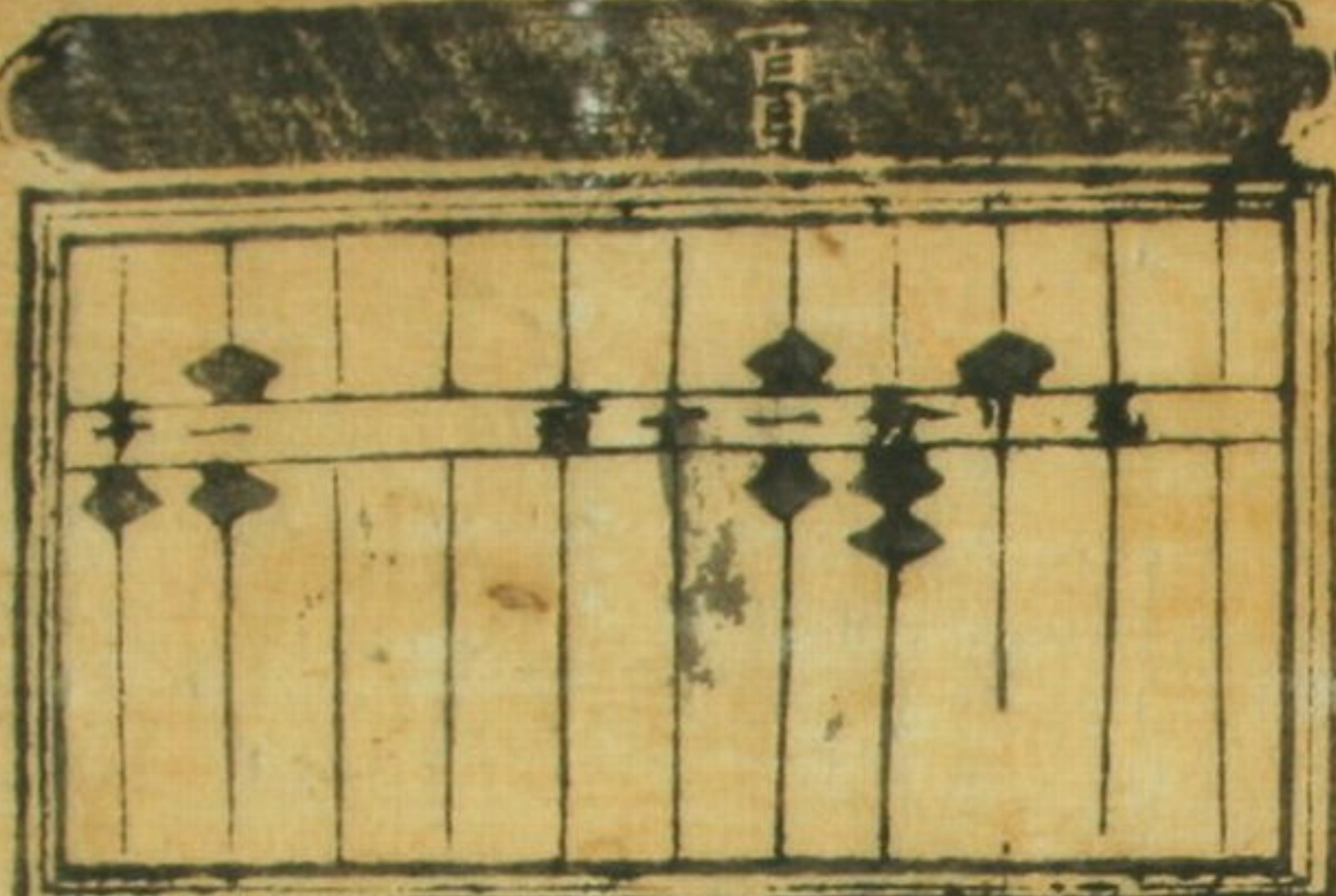
五分  
二分  
方

あるの帳百  
十  
たまたま  
見一  
ひれぬ  
一進  
これ千一りたれまふり  
ありあつた百分又ふれと  
いふふはふれぬと見一  
ふふふれぬと見一  
ぬいて事なりを戻りぬ

一進二十進十進二十進二十進十進十進  
一進十進二十進二十進十進十進  
一進十進十進十進十進十進十進十進  
見一  
一進十進十進十進十進十進十進十進

下ふ方ののとも又これと一進二十のふて  
士二川のつらて八を又二進二十として  
たふす六のをたふす百自と見一  
云て右自の百を九と見一  
九の半を九のつらと見一  
一進十のふれ九のつらと見一  
のふれ六八四八のつらと見一  
八と見一と見一のふれと見一  
九と見一と見一のふれと見一

見一掛算



わらのつらと見一のふれと見一  
十六あつたつらと見一のふれと見一

五夫ホ  
二夫オ  
六夫オ  
一夫オ

の千と百の二と見一のつらと見一のふれと見一  
あるふれと見一のつらと見一のふれと見一  
たの千と百の二と見一のつらと見一のふれと見一  
百と二けたつらと見一のつらと見一のふれと見一  
たの千と百の二と見一のつらと見一のふれと見一  
百と二けたつらと見一のつらと見一のふれと見一

見二圖



あつひハ八女きうかつ  
三百七拾六あつひ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ

あつひハ八女きうかつ  
三百七拾六あつひ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ

かけ算

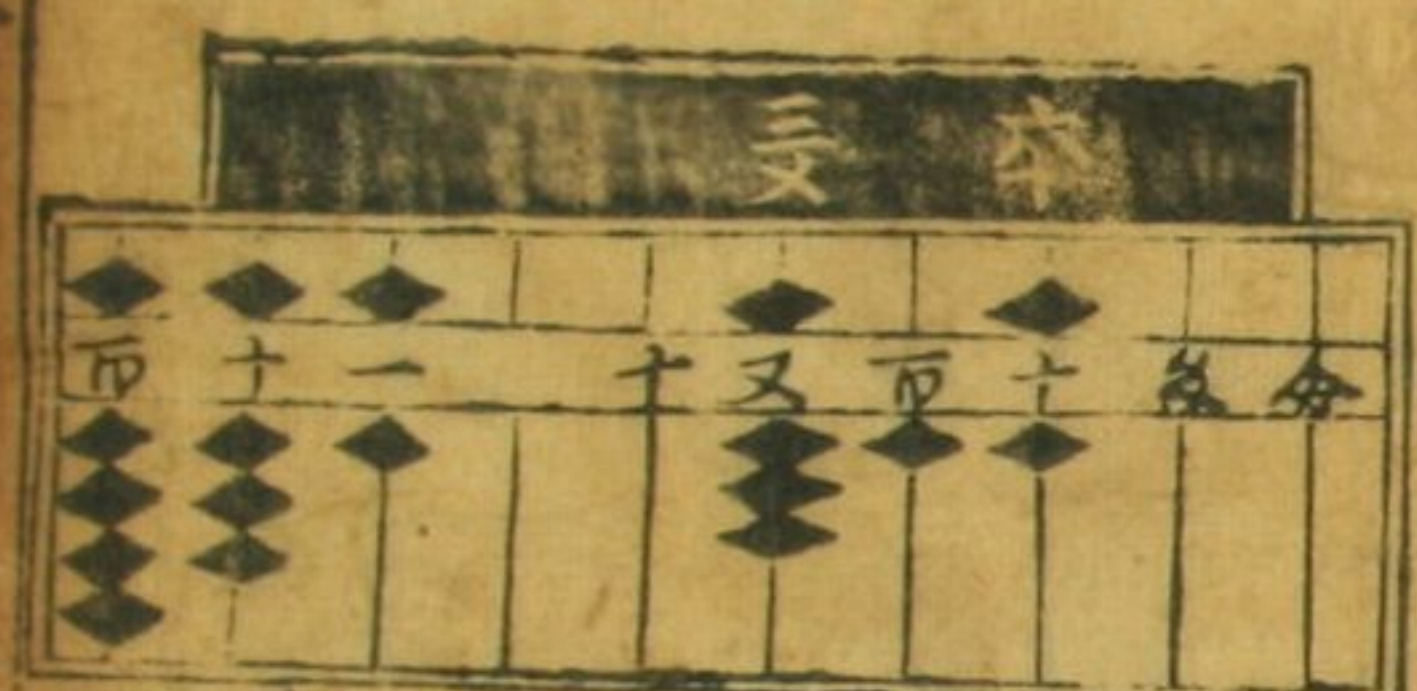
見三圖



あつひハ八女きうかつ  
三百七拾六あつひ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ

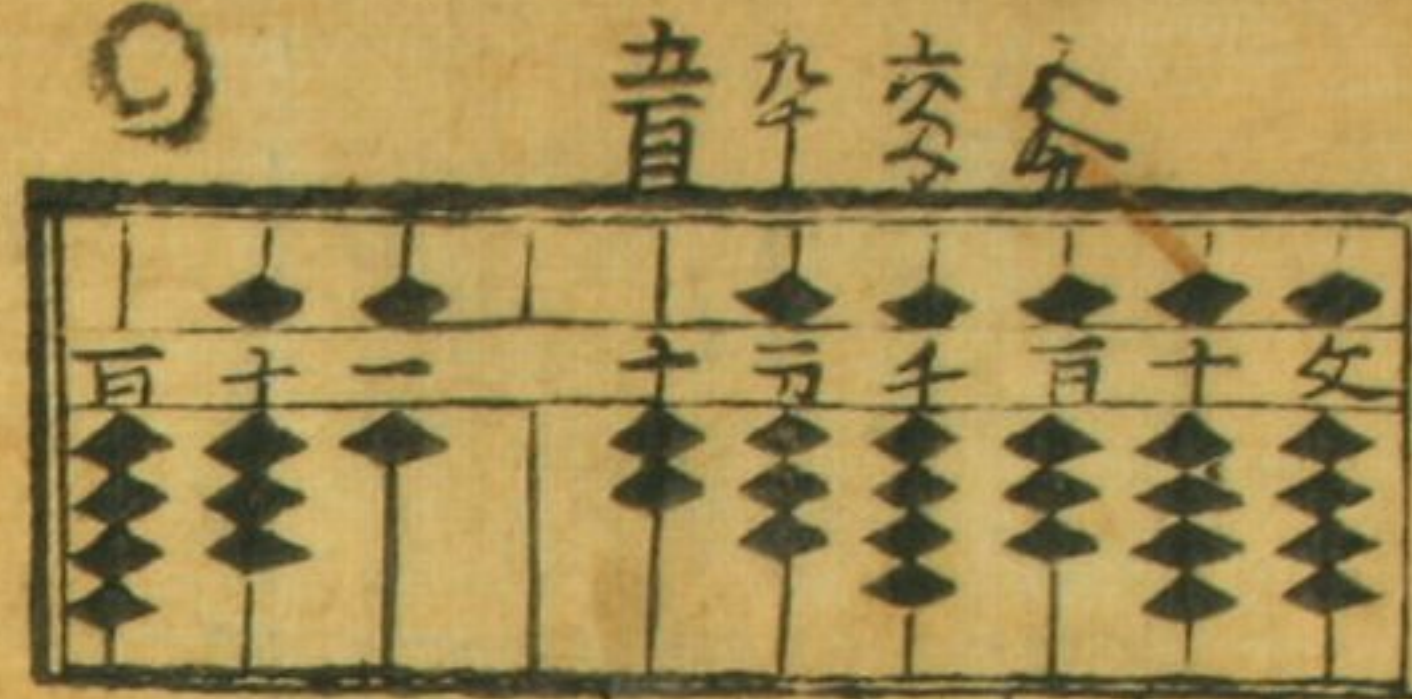
あつひハ八女きうかつ  
三百七拾六あつひ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ

かけ算



あつひハ八女きうかつ  
三百七拾六あつひ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ  
ハ女きうかつ

見四圖



ありひの百八拾九變八百九拾九と  
 〇百八拾六ふりつりあり  
 〇百九十六ふりつりあり

見四圖及他九四  
 〇百九十六ふりつりあり

音 卒 交 分

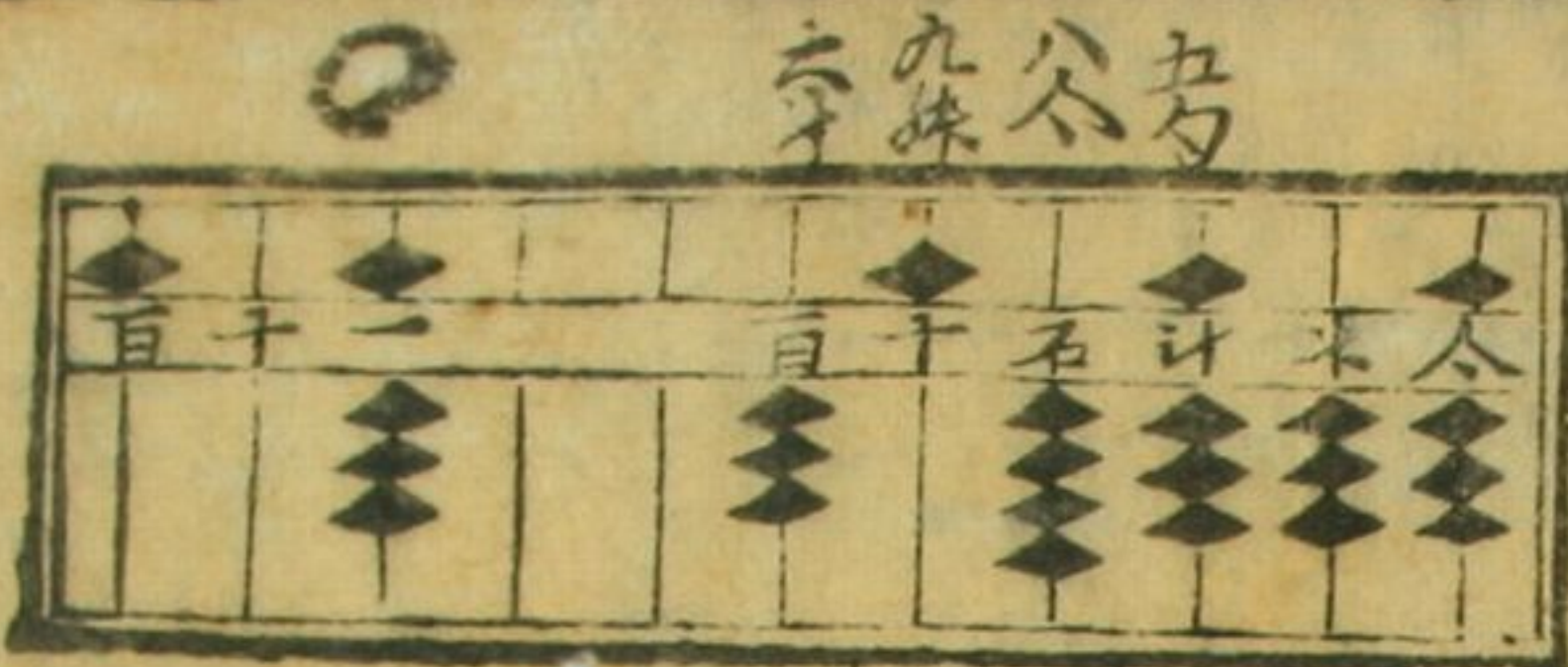
音 卒 交 分



ありひの百九拾六ふりつりあり  
 〇百八拾六ふりつりあり

かりさん

見五圖



ありひの三百五拾九變八百九拾九と  
 〇百八拾六ふりつりあり  
 〇百九十六ふりつりあり

見五圖及他九五  
 〇百九十六ふりつりあり

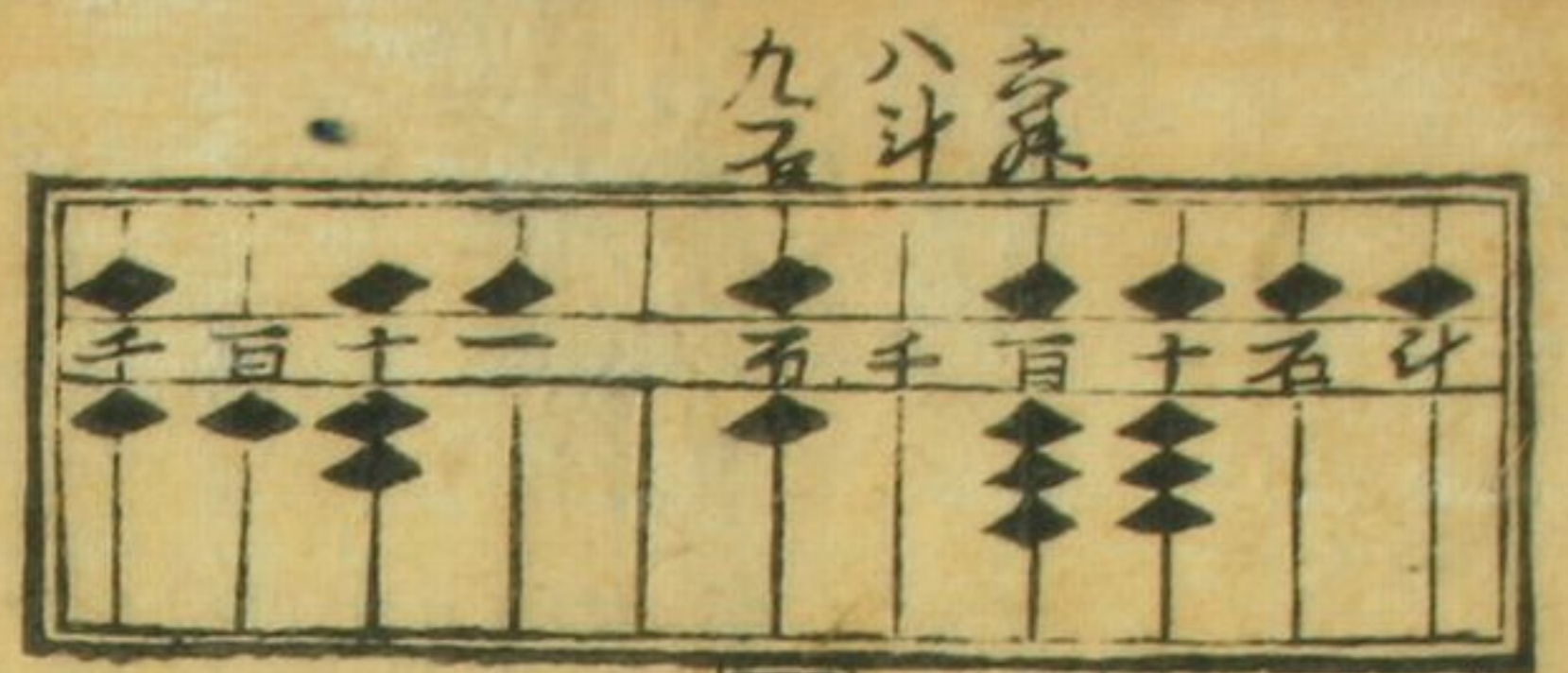
かりさん

音 卒 交 分



ありひの三百五拾九變八百九拾九と  
 〇百八拾六ふりつりあり  
 〇百九十六ふりつりあり

見六圖



あつひの六万八千八百八拾五石五斗と  
 〇六千七百七拾五石五斗と  
 九石八斗六升七勺と

見七七及他六  
 帰一倍云

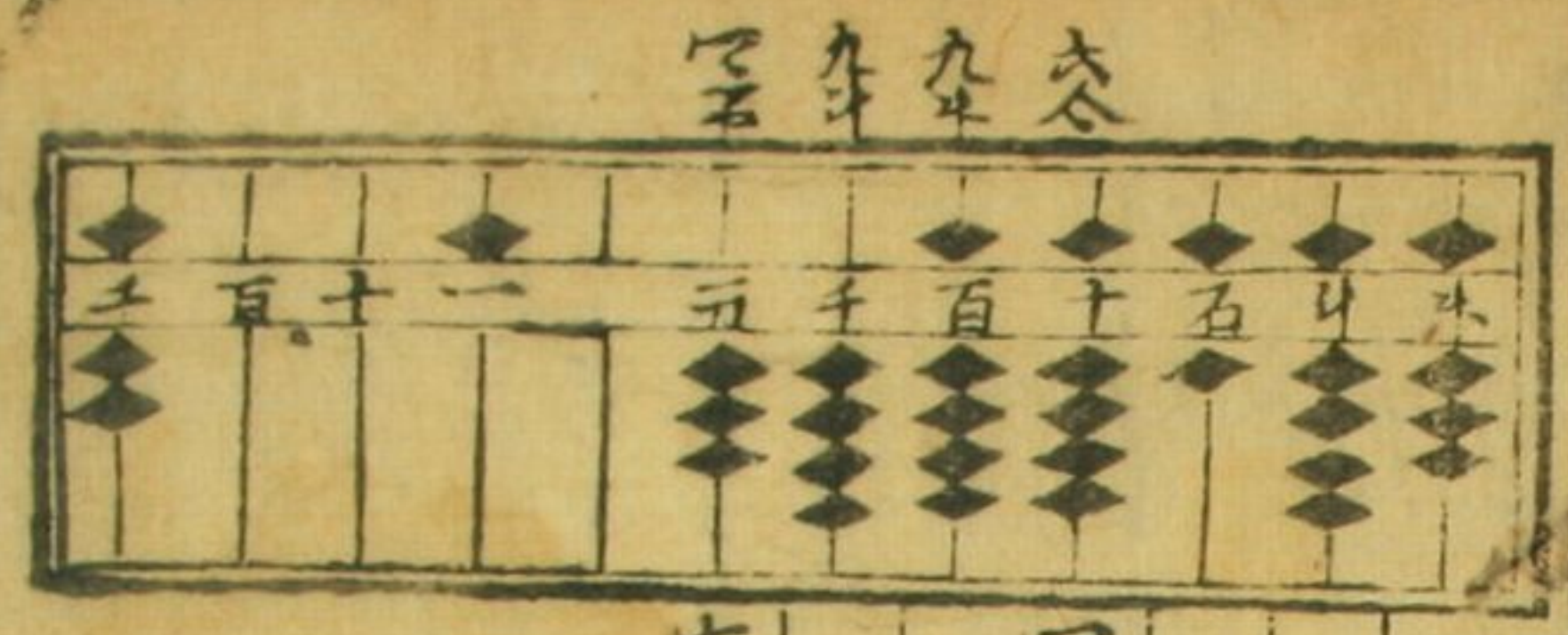
五九	四十五	七八	五十六	六三	天他五
七九	六十三	一八	八八	六三	天他五
一九	九	六五	八十一		

五六	四	四	五
五九	四十五	七九	六十三
一九	九	六五	八十一

かけ算

あつひの米九石八斗六升七勺と  
 六千七百七拾五石五斗と

見七圖



あつひの米三万石九百九十九石九斗八升と  
 七千五百五拾五石と  
 四石九斗九升八勺と

見七七及他九七  
 帰一倍云

八	九	四	五
七	進	一	千
七	進	一	千
七	進	一	千

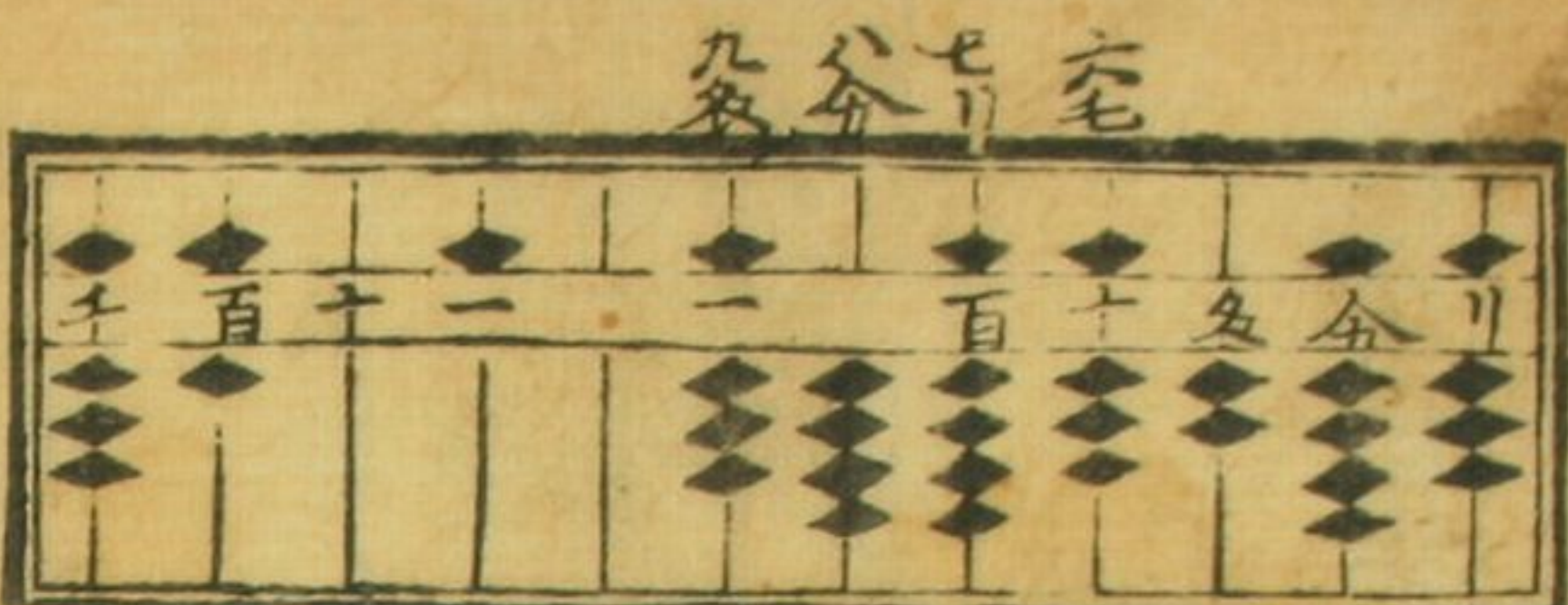
かけ算

あつひの石九斗九升八勺と  
 七千五百五拾五石と

三万石九百九十九石九斗八升と



見八圖



あつひの根八松四九百八松九金九金リと  
八子云云云云。日れといふ時  
九子云云云云。六とつとつと

見八を及比九八  
ひんの時  
帰一倍八 倍とつとつと

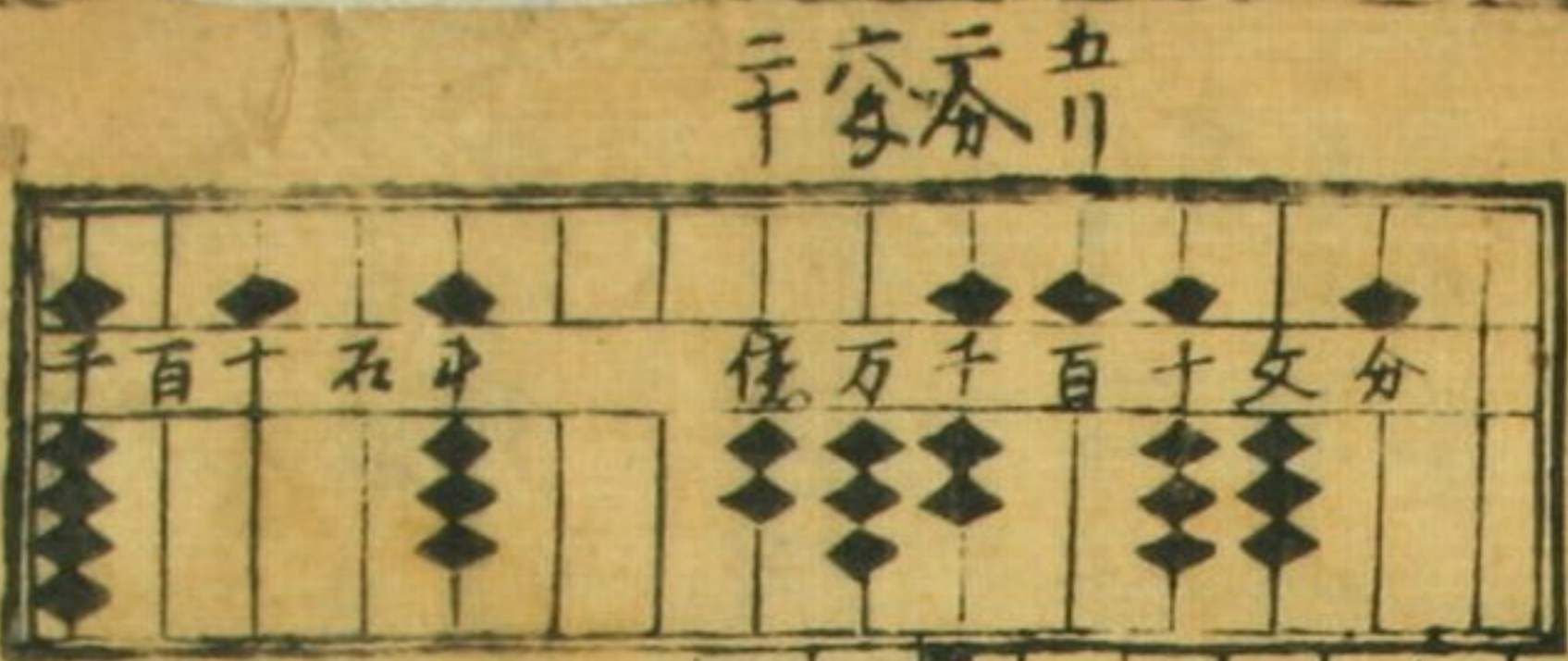
六九	五九	六八	五八
六九	五九	六八	五八
六九	五九	六八	五八
六九	五九	六八	五八

五七	六六	五七	六六
五七	六六	五七	六六
五七	六六	五七	六六
五七	六六	五七	六六

かけ算

あつひの九子八子セリ六とと  
八子云云云云。日れといふ時

見九圖



あつひの根七松七松七松七松  
九子云云云云。日れといふ時  
九子云云云云。日れといふ時

見九を及比九八  
ひんの時  
帰一倍九 倍とつとつと

二八	三五	二八	三五
二八	三五	二八	三五
二八	三五	二八	三五
二八	三五	二八	三五

五八	五八	五八	五八
五八	五八	五八	五八
五八	五八	五八	五八
五八	五八	五八	五八

かけ算

あつひの根七松七松七松七松  
九子云云云云。日れといふ時  
九子云云云云。日れといふ時

計の  
けけていれらるる人の事

米五千六百十八石と



六四一  
五七五  
五六三  
五五六

二の刻時  
きりう五  
あきらめ  
千八百五石  
なす

米九千八百七十六石と



けきん  
四六  
四七  
四八  
四九

けきん  
時下より  
四とめ  
くれ  
三百五石  
写し

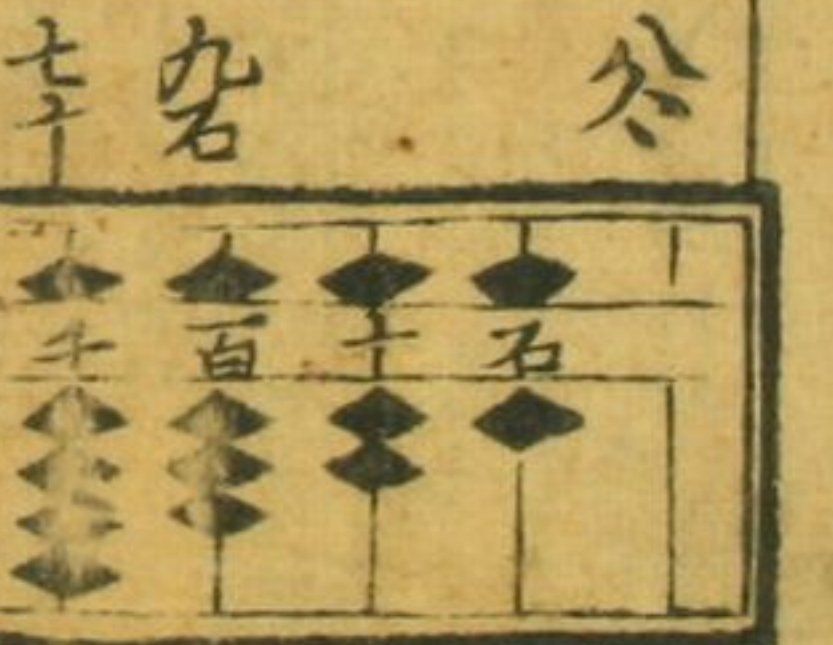
米六千二百八十九石と



二九十八  
二八十六  
二三四  
二六十二

五の刻時  
けきん  
あきらめ  
一変二百石  
ハナツと  
なす

米九千八百七十六石と

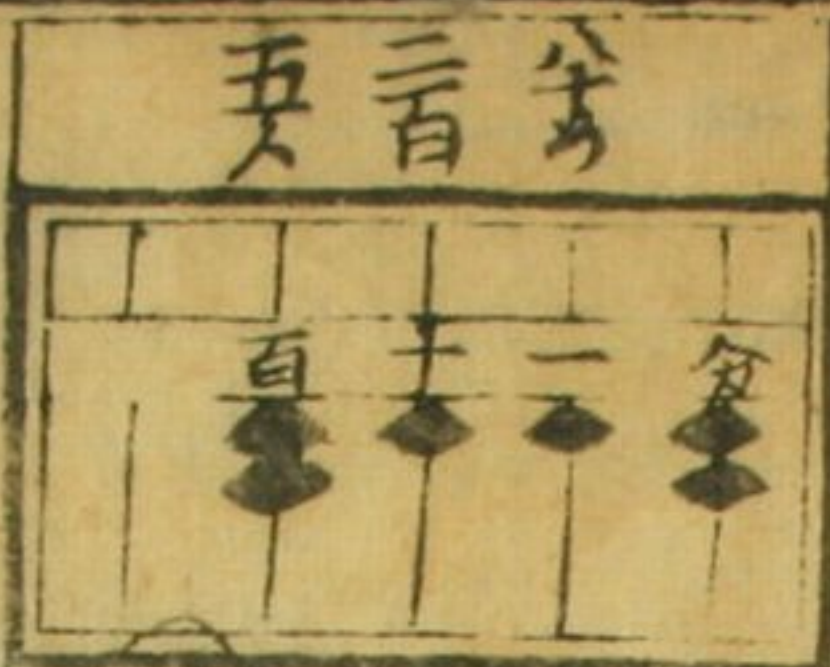


けきん  
六八  
七八  
八八  
八九

百はふ刻  
時下より  
八とめ  
くれ  
七松九石八  
なす

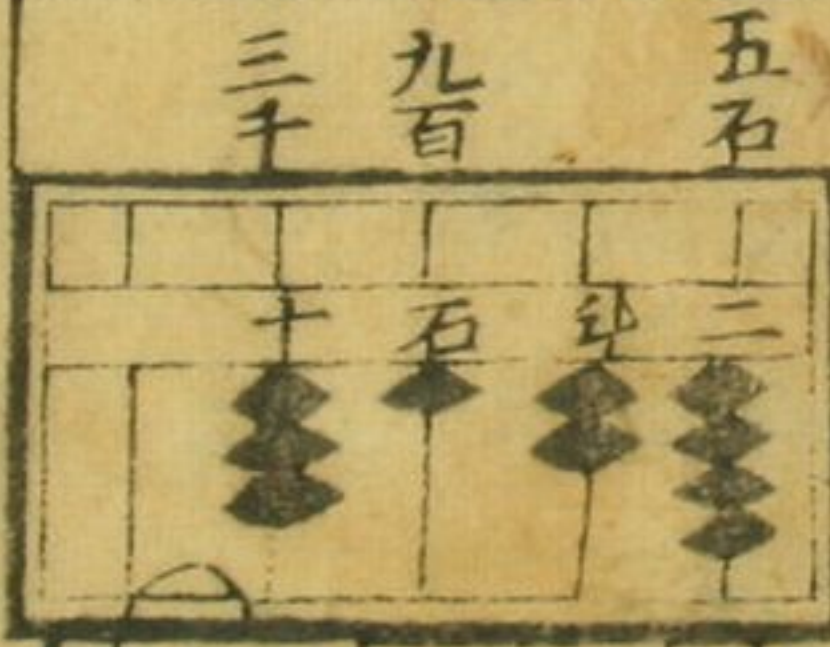
計十

▲米八百石ある時計松多村米三斗二人のお  
場ありくちく米計松多村ありくちく



四進一十  
四三七十二  
四一七二  
四二天作五

米二百石  
けきん  
あきらめ  
なす



八天作五  
八進一十  
八七八十六  
八三か下六

米四二石二  
計ア味  
百五  
けきん  
あきらめ  
なす

計松多村七石又松多村と云や

石小米八百石ある時けきんけきんけきんけきん  
計松多村七石又松多村と云や

日れ十八歳七百六拾月と云れし

。ありと米をさしとじて日れかひの有りあり

かひ小かくれい米と云れ

▲銀五百の松と存分を 指すに實年二年少人の

さうじしれ時たる銀小米あふやうしりし時

米計松実年と存分と云りし

たるかひと云れ小お場年三季少人と云れたるは

かくれい米と云れし

▲銀松三実年百八松の存分あり時小米を存分市松

と存分ありありと云れ松米ゆかりし時

米五百の松七石の存分と云りし

たる松三実年百八松の存分ありと云れお場は二

七分ありありと云れい米小ありあり

。かひと云れさうじて日れい米小あり

米はかくれい米と云れし

▲米計小八百七拾月存分を け代七松三実年百自也

たる米を存分指すありと云れと云りし時

米計小八百七拾月存分と云りし

法小米れりありと云れい米小ありありと云りしや

▲米計小八百七拾月存分を け代七松三実年百自也

たる米を指すありと云れい米小ありありと云りしや

指すに月三斗九斗と云りし

法小かひのさりと云れ小ありと云れと云りしは

指すにありと云れい米と云れし

▲ 此松の月米三斗九年六月二日方ふれぬの時、毛石の  
みわくしあつるそとつみ時ふ

毛石の月米松の米ふれぬの時

石小毛石とあつた石三斗の年六月二日方ふれとまき  
たつ毛石とたの米あつしこれにたみふれぬとあつや  
▲ 米あつし毛石の付てり定年つ、まそこれ後あつた  
多甲かふりし時毛石何れかふあつた時

毛石の付てり定年つ、まそこれ後あつた

石小毛石とあつた石とまきこれと毛石定年て割る  
▲ 又毛石定年たつぬと毛石定年といふ時毛石何れ  
みわくしあつるそとつみ時ふ

毛石の付てり定年たつぬと毛石定年といふ時

法小九斗の年とつりつとわきとつちあやたつ日新  
▲ 上米一石の付 中松七斗の年とつちあや  
中米一石の付 中松七斗の年とつちあや  
下米一石の付 中松七斗の年とつちあや  
餅米一石の付 中松七斗の年とつちあや  
大石一石の付 中松七斗の年とつちあや  
流岩流石の年とつちあや  
し時、つちあやの年とつちあや

上米一石七斗の年とつちあや

中米一石七斗の年とつちあや

け流岩流石の年とつちあや

下米一石七斗二升定入一斗一石一斗三升

けねん秋をききかみり

餅米一石七斗二升定入一斗一石一斗三升

けねん秋をききかみり

大豆一石七斗二升定入一斗一石一斗三升

けねん秋をききかみり

ねん合計百石一石一斗三升

まの五のあのみりての代ね合百石のみまことさくし百  
松のあ八分と百石のみまとの山さく日れはきき七斗二升  
定入一斗とさくし也

六部百石のみま八としりて七石七斗二升定入一斗  
さくし事志れし是百石のみまの刻ふ八としりし

▲上米一石九七石二斗

中米一石九七石二斗

下米一石九七石二斗

ありね山百石のみま八としりて七石七斗二升定入一斗  
米かじし時上米より中米とさくしりて中米  
下とさくしりて中米とさくしりて中米

上米一石九七石二斗

けねん秋をききかみり

中米一石九七石二斗

けねん秋をききかみり

下米一石九七石二斗

けねん秋をききかみり

派三石合武百松云々八石云々

まのふ系付派といふ名が九七石云々とたふ武申系  
 の派は名が九又松云々とたふ加へ下系の代派とい  
 名が九又松云々とたふ加へ合百七松云々と合  
 これあてたて昔松云々とたふ合百七松云々と合  
 系八石合百七石とたふ加へ合百七石云々と合  
 とい申ふ一石云々也

派十一

儀まよりの事

▲系八百又松石云々但一石付三派つての人たらしし時  
 ちこまよ同ふふあそとつり小付

妹目八百又松石又斗小女とつり

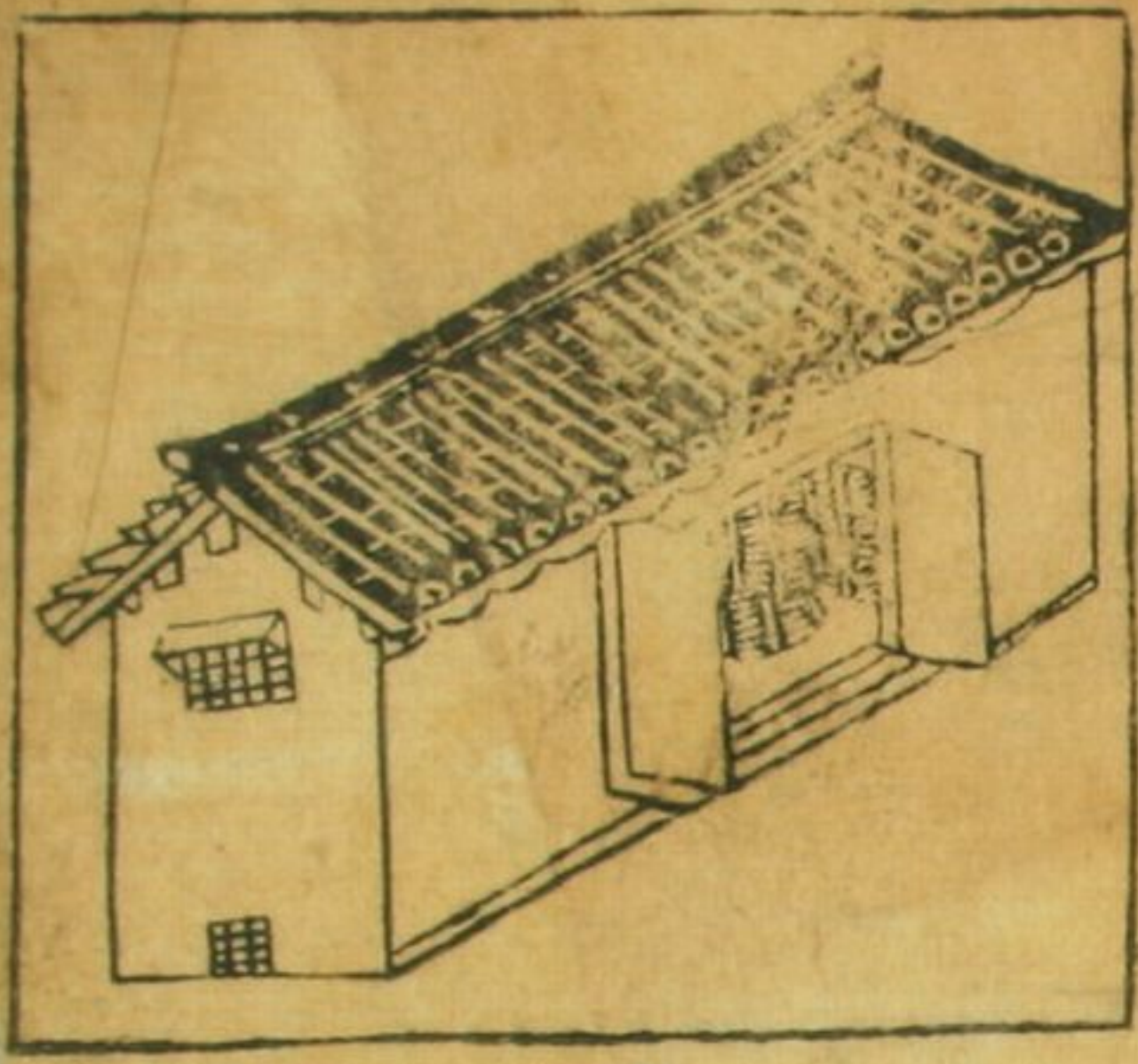
まの系名とたふ武申といふ内三派の派は九斗七石云々

是と云そ八百又松石云々妹目云々とあり  
 ▲四斗儀五子三百七石儀を時、これとあり儀の石小  
 一と何れをわあそとつり小とあり

斗子百又松八石小女とつり

石五子三百七石儀と武申斗とかけりるあり

- 系の内小斗八石儀
- 合六百儀あり
- これ内小斗儀
- 合六百儀あり
- 系の内小三斗七石儀
- 合六百儀あり



但四斗八升儀、可於之各つゝふ、祓たりんきこく之、四斗  
八升儀も、四斗儀も、三斗儀も、儀も、代、祓、皆、三、口、升、よ  
祓るふ、あ、り、そ、と、り、子、時、よ

三口合格九費六百同也

○四斗八升儀六百儀、不、指、之、各、と、か、れ、ん

祓七費八百同と云れし

○四斗儀六百儀と、右、不、到、儀、之、各、と、か、れ、れ、七、費、八、百、と、  
如、又、左、子、四、斗、八、升、と、も、四、斗、あ、り、と、れ、れ、六、十、と、い、ふ  
げ、と、と、り、の、と、右、七、費、八、百、同、と、い、ふ、可、い

祓六費六百同と云れし

○三斗、四斗、儀、六、百、儀、と、れ、あ、も、十、二、と、と、れ、れ、七、費  
八百同と、如、又、左、子、四、斗、八、升、と、も、三、斗、儀、三、斗

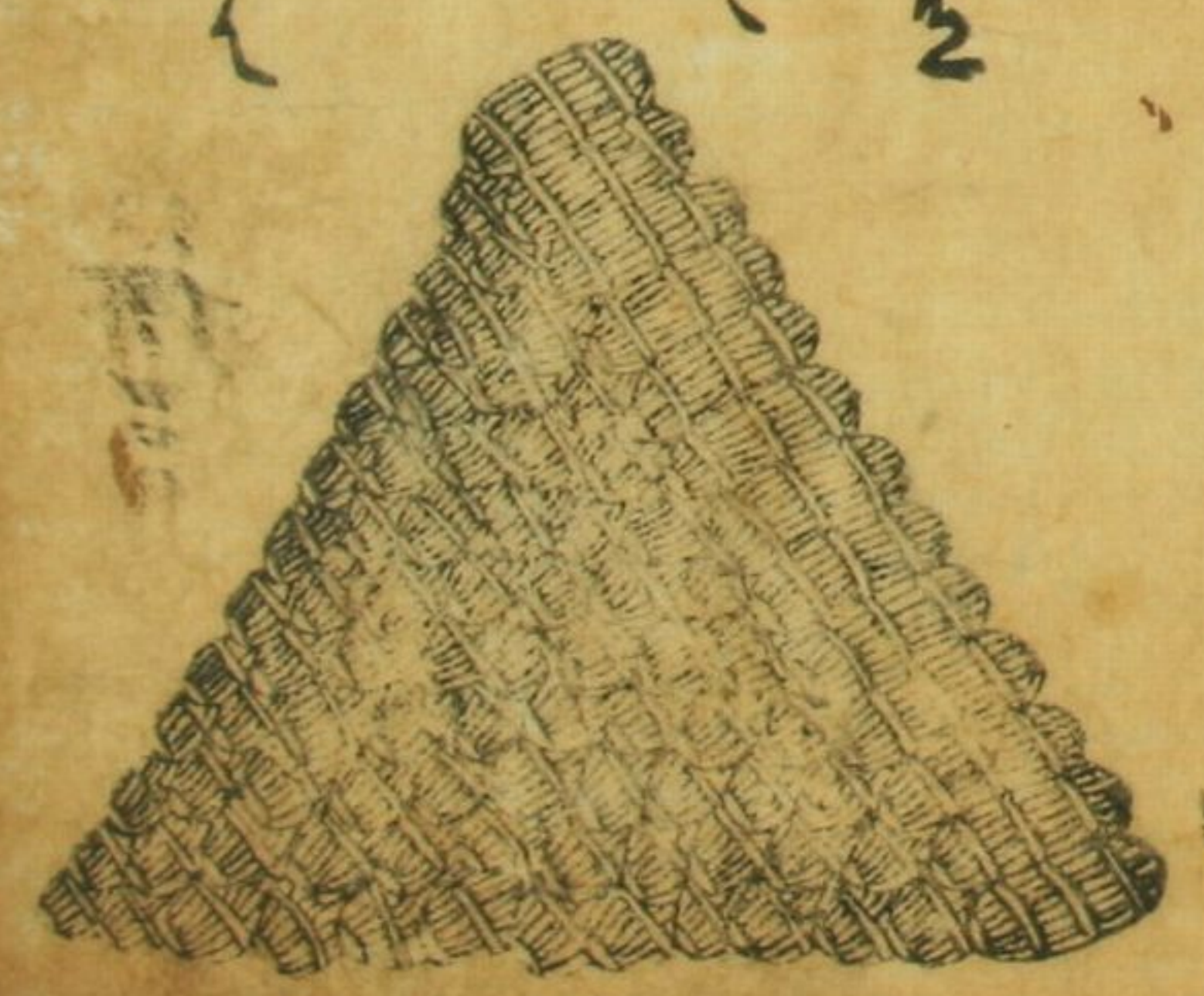
日、れ、十、五、と、如、け、十、五、あ、り、と、七、費、八、百、同、と、い、れ、  
五、費、六、百、同、と、い、れ、し、也

祓三口合於九費六百同也

第十 儀とて、い、ん、の、事

○儀、救、令、九、於、を、表、す

右、六、十、二、儀、と、も、又、左、子、も、於、三、儀、  
あ、り、と、れ、お、う、の、を、儀、と、い、ふ  
十、口、儀、と、も、れ、を、右、と、か、れ、れ、六、百  
八、十、二、儀、と、も、と、二、つ、お、い、れ、ん  
九、十、一、儀、と、も、と、れ、し、也



○百四十八三儀あり

法おきつれんく十八表とた志おむ  
さく凡の十八表よりこの八表と加へ  
海時山松六表よむこれに二つ  
おまれの十八表ふらるるあり  
又右に松八表より一表わらり  
十九表よりけ内とくこのく  
八表引時跡より一表ふらるる是こ  
んの十八表とわかれ

百四十八三儀とさあ



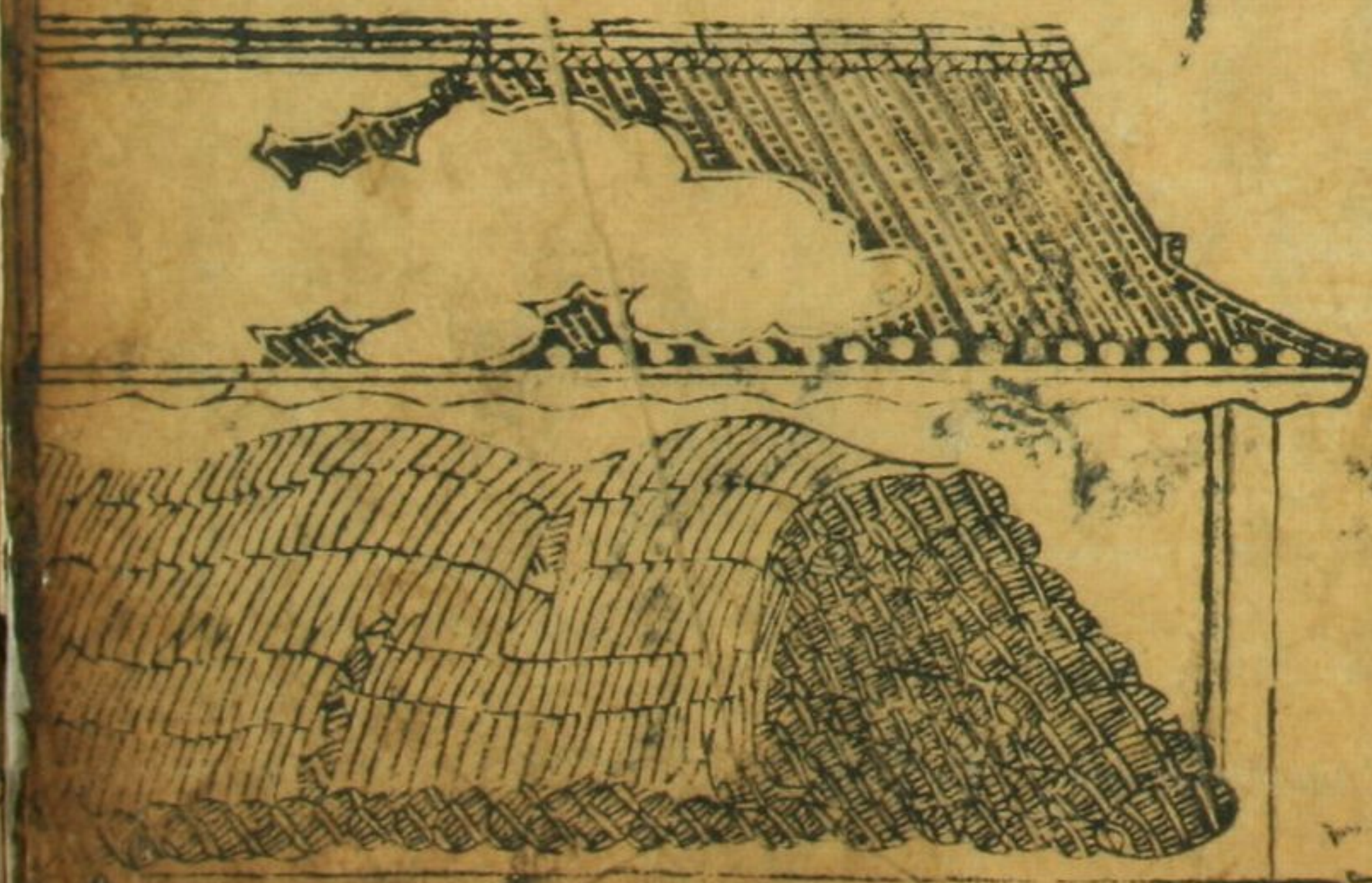
表の下お儀板おはして多時よ下れくこの表より  
上の八儀ありけ板あふらるるああさるる同時中

○け板山松六儀あり

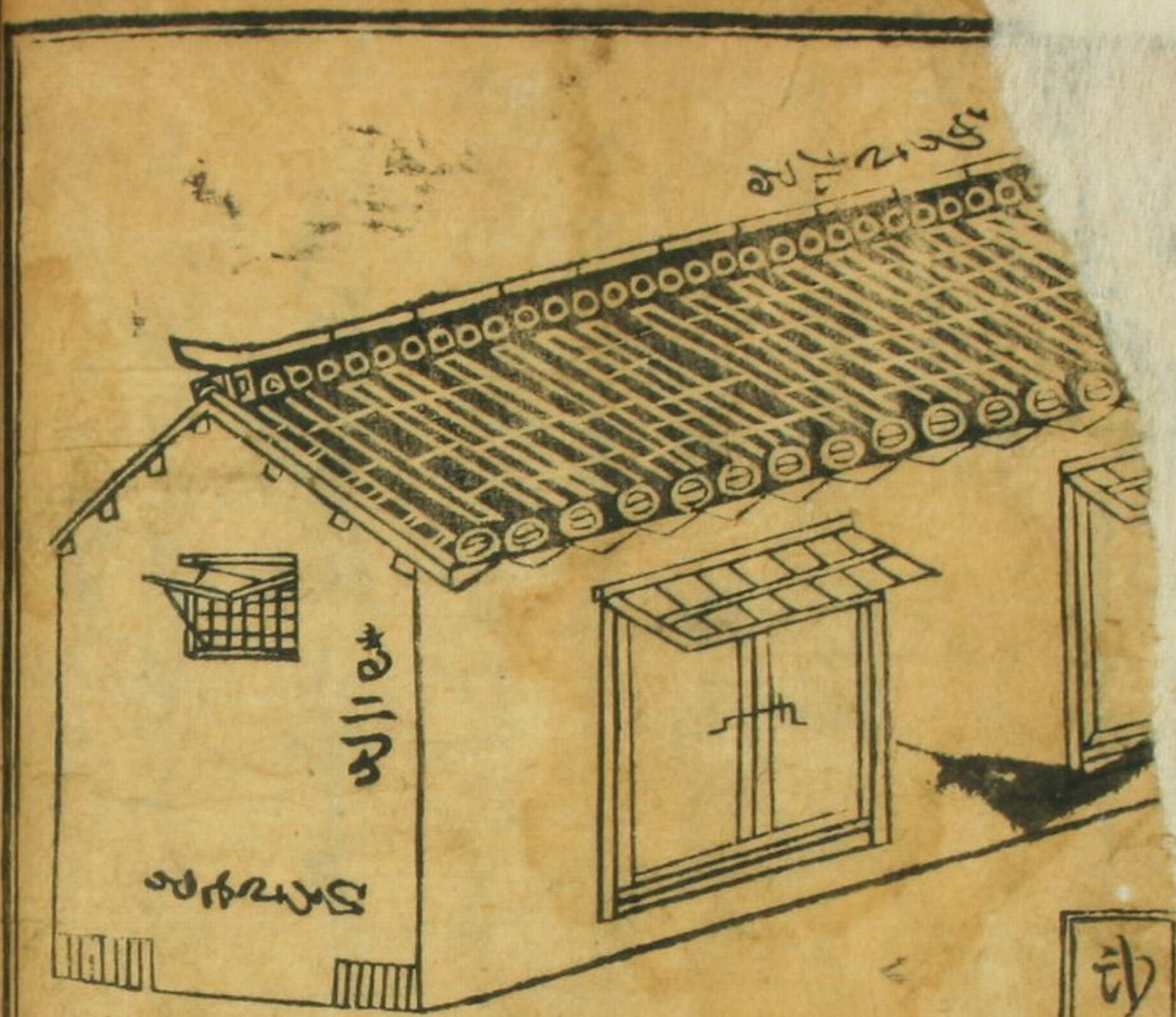
法お下時表より一表わらりてこの八表  
引く跡に三表より下時表と  
加へてこの三儀より八表と  
わかれこの山松六表よりこれを  
二つよりわかれ

○け板山松六儀あり

し中







沙の九百九十九松依入...  
 ほうふりう...  
 九十九松依入...  
 九十九松依入...  
 九十九松依入...  
 九十九松依入...  
 九十九松依入...

第十四

せみらりりかひれ事

▲を費ふ...  
 泥を...  
 ...

...

一 又 付

十のち下
十のち二
十のち三
十のち四
十のち五
十のち六
十のち七
十のち八
十のち九
十のち
六のち
六のち又七
六のち又八
六のち又九
六のち又一〇
六のち又一
六のち又二
六のち又三
六のち又四
六のち又五
六のち又六
六のち又七
六のち又八
六のち又九
六のち又

一 又 付

十のち下
十のち二
十のち三
十のち四
十のち五
十のち六
十のち七
十のち八
十のち九
十のち
六のち
六のち又七
六のち又八
六のち又九
六のち又一〇
六のち又一
六のち又二
六のち又三
六のち又四
六のち又五
六のち又六
六のち又七
六のち又八
六のち又九
六のち又

一 又 又 付

十七子一ト	十七子二ト	十七子三ト	十七子四ト	十七子五ト	十七子六ト	十七子七ト	十七子八ト	十七子九ト	十八子	十九子一ト	十九子二ト	十九子三ト	十九子四ト	十九子五ト	十九子六ト	十九子七ト	十九子八ト	十九子九ト	廿子	
多																				
ウ子又二四	ウ子又八一	ウ子又四九	ウ子又一七	ウ子又八六	ウ子又二二	ウ子又九三	ウ子又六三	ウ子又三三	ウ子又二六	ウ子又七四	ウ子又四八	ウ子又二二	ウ子又九七	ウ子又七二	ウ子又四八	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	

一 又 又 付

十七子一ト	十七子二ト	十七子三ト	十七子四ト	十七子五ト	十七子六ト	十七子七ト	十七子八ト	十七子九ト	十八子	十九子一ト	十九子二ト	十九子三ト	十九子四ト	十九子五ト	十九子六ト	十九子七ト	十九子八ト	十九子九ト	廿子	
ウ子又上一	ウ子又七四	ウ子又四八	ウ子又一七	ウ子又八九	ウ子又六一	ウ子又三三	ウ子又下六	ウ子又下七九	ウ子又下五二											

左これく人なま  
 さ商人れたあま  
 りりけけあ  
 しあり

一 又 又 付

十七子一ト	十七子二ト	十七子三ト	十七子四ト	十七子五ト	十七子六ト	十七子七ト	十七子八ト	十七子九ト	十八子	十九子一ト	十九子二ト	十九子三ト	十九子四ト	十九子五ト	十九子六ト	十九子七ト	十九子八ト	十九子九ト	廿子	
ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	ウ子又二四	

世に六費八百ある時を費み付於七ありて右  
 世にのかけあふありて右ありて右あり  
 取百枚あるとき分り  
 右の表八右ありて右ありて右ありて右あり

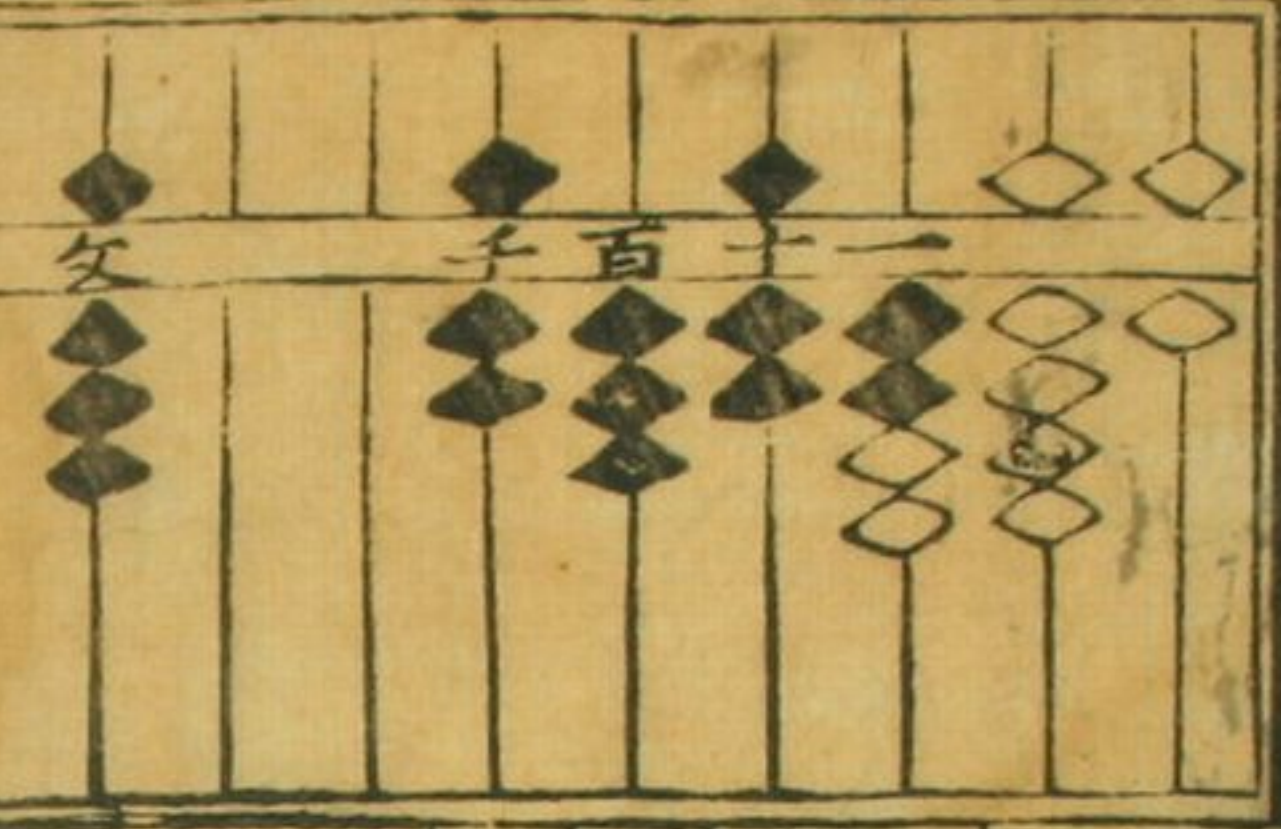
取百枚あるとき分り  
 右の表八右ありて右ありて右ありて右あり  
 取百枚あるとき分り  
 右の表八右ありて右ありて右ありて右あり

▲七下七愛三而七十二みまの時一愛三付於八百より  
世一の紙あめをせよときりよ  
銀百兩計を七分よりこいよ

法よせよと有るも七下三又目と割る至時

七下みまが下より十八子としりる也

百九



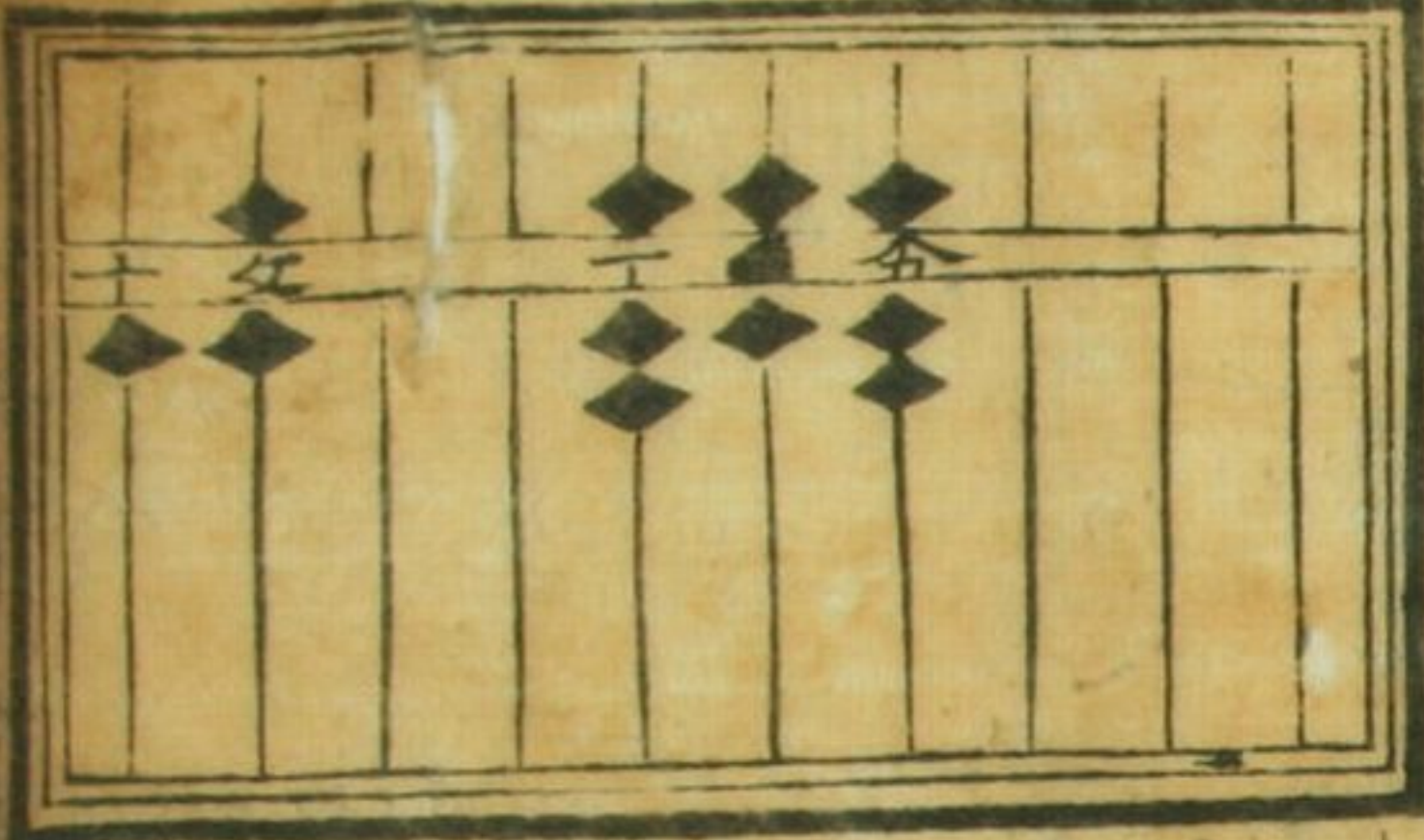
四四其加九十六進千	四七廿八加	五六	七八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
五八四	一五六七五	一七七	三八九	一三三	七五	一七七									

▲九七於六也七をの時せよ一愛三付於八百より  
て右へ加ひ小錢あふるをこきりよ

法よせよ七下九於八百より

法よ七下六也七をの時せよ一愛三付於八百より  
肉を右より左へひきこひ法よせよ

四七九



八進六十。五六戒引	四進四十。四六廿四引	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九	見一五以作九
五六	七八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二

○せふわしんそくぐんてのひことりては

百りりらうをうけくひく

△上世に一貫あす村 松七多ぐのさうた也

中世に一貫あす村 松七多ぐのさうた也

いまありかひ計百あ松七多ぐのさうた也

うあせせいと上中二つあふし時上せんと

中せんとあふしつとらや度とりあす

上世に七貫八百あ松七多ぐのさうた也

け銀百三終三もあふし

中世に七貫八百あ松七多ぐのさうた也

け銀百三終三もあふし

かひ二に合止り又松七多ぐのさうた也

まじりせんのさうたにせんとあふし又中  
せんのさうたにせんとあふし又中  
あふしにせんとあふし又中  
七貫八百あ松七多ぐのさうた也

松七多ぐのさうた



○丁銀五に松九多を時上  
いあふしに肉二にり  
あふしに時上を丁銀  
上銀あふしにり  
上銀あふしにり  
上銀あふしにり

○二より引くならハあそかめあさん

そこの十してはあそかめあさん

○二より引くならはあそかめあさん

そこの十してはあそかめあさん

▲いふあそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

あそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

丁銀九百九十九枚目あそいふ

右ふいふあそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

いふあそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

▲あそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

あそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

丁銀九百九十九枚目あそいふ

▲三分行うら九七とわくあさん

三分行うら九七とわくあさん

▲三分行うら九七とわくあさん

三分行うら九七とわくあさん

▲三分行うら九七とわくあさん

三分行うら九七とわくあさん

右何も皆うら九七とわくあさん

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

あそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

あそ七百九十九枚目と知ると丁銀ふ内二より

銀五三刻

一二加下十四二四加下廿四

三六加下四十二四九加下七十二

四十三進一十

金まぐりの事

▲金山松文をき時ぐんまんのさうぶん松五百石松八ま  
りしてちろく金小派あふりてさうりし時よ

派三百石といふ

▲金山松のちろく松八まありてさうりし五百石松八ま  
りてちろく金小派あふりてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ  
松八まありてさうりし時よ

▲あつひ金七ま字ふりわうと割金のさうぶ派五百石  
かりの時お目と四十はあつてこれに金七ま字対派五百石

分六り三毛六系三忽つて小南あや星はたう金七ま字分りて

派八松田文あふり九毛九系五忽小あし

かくてさうりてま入てあつてさうりてあつてさうりて

▲ちろりまのさうりてこれ小あり  
金七ま字ふり小割のさうぶ派五百石ふりてちろく  
金小派あふりてさうりし時よ

派八松田文あふり

▲ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ  
ちろく金七ま字ふりてさうりし時よ

金松七ま字分ちろりといふ

先報は百両としはみかくしにふかたにきとかくかへはみかく  
 とさすはみ百両としはみかくしに金積せむさのいふふ  
 ▲上金五枚にむさか、判金を枚はむさかづのふふふふ  
 中金百枚にむさか、判金を枚はむさかづのふふふふ  
 下金八枚にむさか、判金を枚はむさかづのふふふふ  
 三口合三百枚にむさか、判金をふさかづのふふふふ  
 ちくしに判金をふさかづのふふふふ

判金七枚にむさかづのふふふふ

上金五枚にむさか、判金を枚はむさかづのふふふふ  
 又中金百枚にむさか、判金を枚はむさかづのふふふふ  
 又下八枚にむさか、判金を枚はむさかづのふふふふ  
 三口合七枚にむさか、判金をふさかづのふふふふ

金四十判

三加下十二三四加下廿四

三加下廿六三加下廿四

早一四進二十

辨

小判と大判の事

▲小判八枚七枚の時一両は判をふさかづのふふふ  
 ちくしに判をふさかづのふふふふ

辨一両八百七枚にむさか

ちくしに八十七枚とむさかづのふふふふ

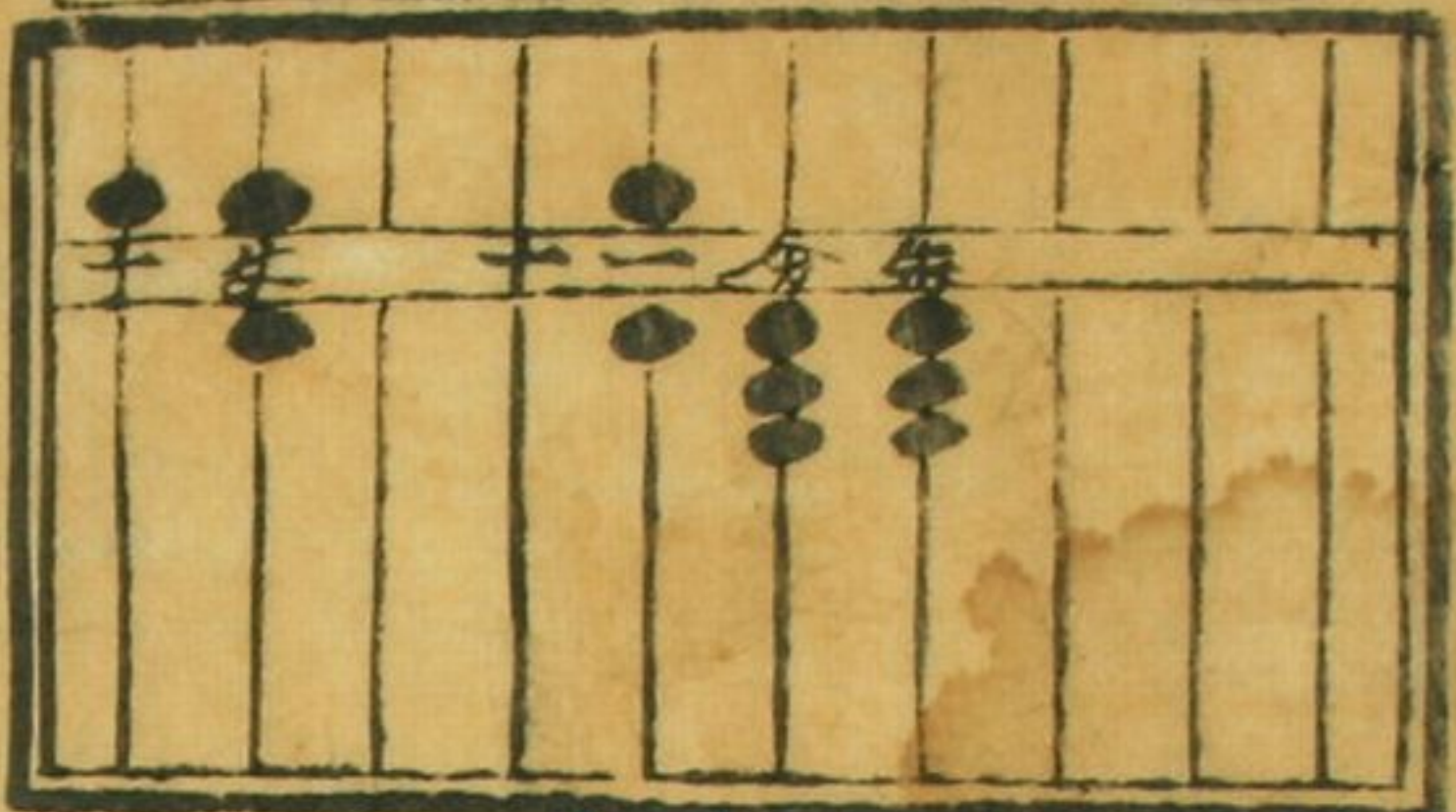
▲小判八枚八枚三分の時一両は判をふさかづのふふふ  
 ちくしに判をふさかづのふふふふ

辨一両七百廿枚にむさか

ちくしに七百廿枚とむさかづのふふふふ

九段七段は女是ふら秋自とわのれを要七百たる女  
 ▲小判六百三十分三集の時一兩を付み秋六百三十分  
 右より小判八兩の銀ありては時一  
 派三百八兩の銀ありては

考子半青



		四十五	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
--	--	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

法より三集よりわよのれはつて又三分  
 ちりよりわよのれはつて又三分  
 おまじをわよのれ

上小判のよりわよのれはつて又三分

考子半青

▲派六百八兩又秋自とわの時一よりわよのれはつて又三分  
 の銀ありては時一

利を要小判七枚の銀ありては

▲派六百八兩又秋自とわの時一よりわよのれはつて又三分

▲派六百三十分三集の時一よりわよのれはつて又三分

ともふ合するよりわよのれはつて又三分

中判合買八百枚の銀ありては

先買銀三百兩とたよの銀はつて又三分  
 ちりよりわよのれはつて又三分

▲派六百三十分三集の時一よりわよのれはつて又三分  
 ともふ合するよりわよのれはつて又三分





りてはけい八等いらす月百目存入るるの事一はに  
六月おあよりいらす時

利銀三費六百八拾六文下りり

もし七枚六費八百目とるよ五八分とくれば百拾四  
四とあれ一月少金也そふ六月をのびる也

▲又ち本銀七千の費八百目ふ八分の利ゆして六月  
ふ利ふ利とかくこ

利銀三費七百六拾目ぬるゆり

先百目八分とたふあことちる本銀ふさふさかくれ  
本利利銀九八拾費ぬ百六拾目ぬるゆり

▲か東六拾石より三年のちの利ふ利とかく時

三年のち 二ヨリ 三ヨリ 右三年にち本利合あよりとるゆり

本利合百拾石九拾六文下りり

まの本は移石とちふ五十二とかくれ七千八石も  
又十二とかくれ九十三石の中ぬ又十二とかくれちふあり也

▲東中利三年のち合百拾石の中ぬる時

利 三年のち 二ヨリ 三ヨリ ちてちる本はあよりとる時

本東八拾石とらり也

まの百拾石の中ぬるとちあむく三年あれ一とらり  
十をぬり十二とたわむてちる百拾石の中ぬると  
ちる也又二年めの利二とらふ十をぬり十二とたふあ  
ちるちるちると又とる也又とらる本銀のちるふ  
十とち十三とたふあよりとらるちるちると又とる  
本東八拾石とらり也



Handwritten text in cursive script (sōsho) on the right page, partially obscured by a large, dark, textured stain. The text is written vertically and appears to be a collection of characters and phrases, possibly a list or a series of notes.

Large, bold, dark characters, possibly a title or a significant phrase, written in a highly stylized, calligraphic manner. The characters are partially obscured by a large, dark, textured stain.



Vertical text in blue ink, likely a title or a reference, located on the left page. The characters are faint and difficult to read.

Vertical text in blue ink, likely a title or a reference, located on the left page. The characters are faint and difficult to read.

寬永癸未仲夏日

西村又左衛門板行

